

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年3月30日提出
【発行者名】	野村アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	C E O兼代表取締役社長 小池 広靖
【本店の所在の場所】	東京都江東区豊洲二丁目2番1号
【事務連絡者氏名】	松井 秀仁
【電話番号】	03-6387-5000
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	野村世界6資産分散投信（DC）安定コース 野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース 野村世界6資産分散投信（DC）成長コース 野村世界6資産分散投信（DC）安定コース
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	2兆円を上限とします。 野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース 2兆円を上限とします。 野村世界6資産分散投信（DC）成長コース 2兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、半期報告書を提出いたしましたので、2022年9月29日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係情報を更新するため、また、記載事項の一部に変更がありますので本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

原届出書の下記の記載事項につきましては内容を更新・訂正いたします。

第二部ファンド情報 第1ファンドの状況 5運用状況

なお、原届出書の「第二部ファンド情報 第3ファンドの経理状況」において「1財務諸表」につきましては「中間財務諸表」が追加され、「2ファンドの現況」につきましては内容を更新・訂正いたします。

また、それ以外の訂正事項につきましては、＜訂正前＞および＜訂正後＞に記載している下線部__は訂正部分を示し、＜更新後＞の記載事項は原届出書の更新後の内容を示します。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

（3）ファンドの仕組み

<更新後>

■委託会社の概況(2023年2月末現在)■

・名称

野村アセットマネジメント株式会社

・資本金の額

17,180百万円

・会社の沿革

1959年12月1日

野村證券投資信託委託株式会社として設立

1997年10月1日

投資顧問会社である野村投資顧問株式会社と合併して野村アセット・マネジメント投信株式会社に商号を変更

2000年11月1日

野村アセットマネジメント株式会社に商号を変更

・大株主の状況

名称	住所	所有株式数	比率
野村ホールディングス株式会社	東京都中央区日本橋1-13-1	5,150,693株	100%

2 投資方針

（1）投資方針

<更新後>

●6種類の資産（マザーファンド）にバランス良く分散投資します。

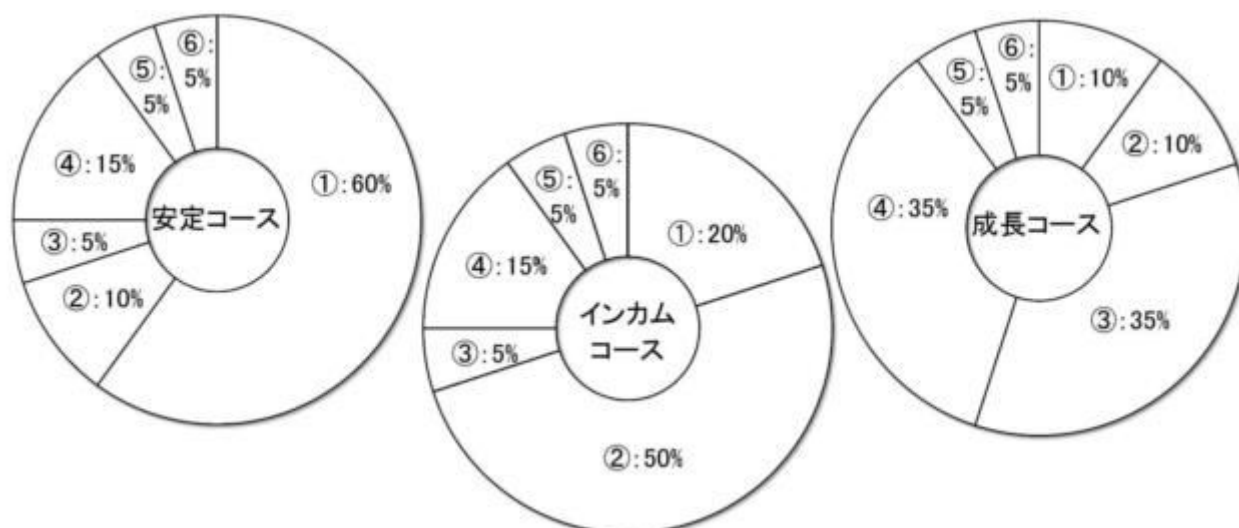
◆各マザーファンドは、各々以下の指数の動きに連動する投資成果を目指して運用を行ないます。



- ※1 わが国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）とします。
- ※2 世界の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券（一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。）とします。なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合もありますが、当ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。

●ファンドにおける各マザーファンドへの投資比率は以下を基本（「基本投資割合」といいます。）とし、原則として毎月、リバランスを行ない、各マザーファンドの対象指数の月次リターンに、ファンドの各マザーファンドへの基本投資割合を掛け合わせた合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行ないます。

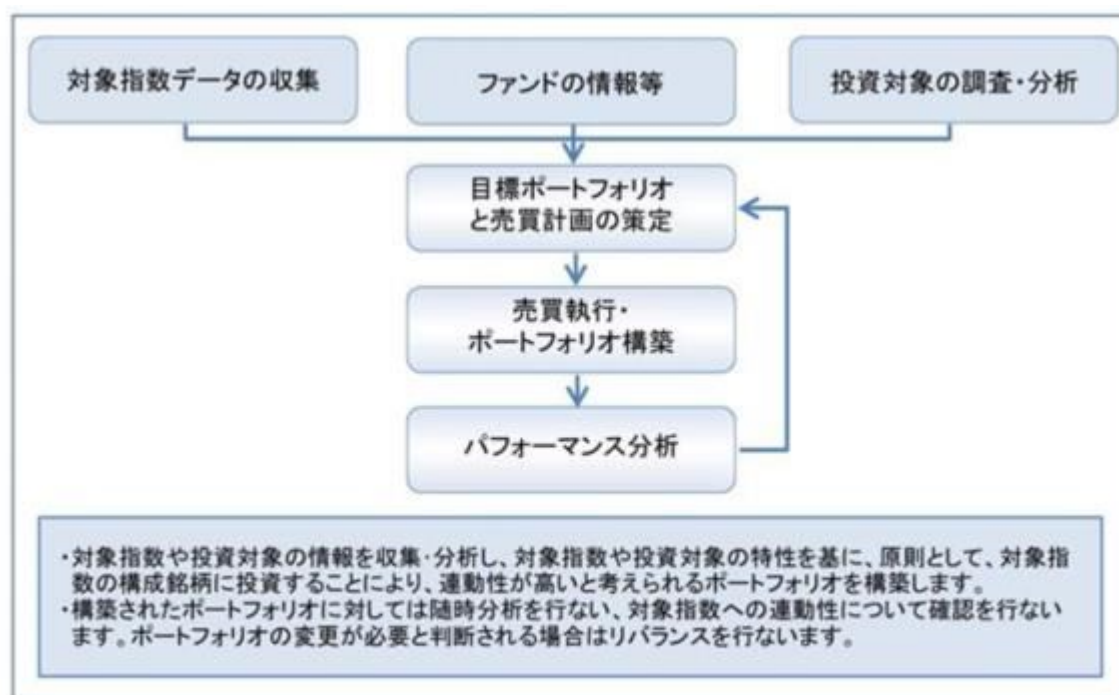
■基本投資割合■



	安定コース	インカムコース	成長コース
①国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド	60%	20%	10%
②外国債券マザーファンド	10%	50%	10%
③国内株式マザーファンド	5%	5%	35%

④外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド	15%	15%	35%
⑤J-REITインデックス マザーファンド	5%	5%	5%
⑥海外REITインデックス マザーファンド	5%	5%	5%

■投資プロセス■



* 上記の投資プロセスは、今後変更となる場合があります。

●実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行ないません。

■各マザーファンドが対象とするインデックスの著作権等について■

■NOMURA-BPI総合■

NOMURA-BPI総合は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が作成している指数で、当該指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、当該インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

■FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)■

「FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

■東証株価指数（TOPIX）■

- ①東証株価指数（TOPIX）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有する。
- ②J P Xは、東証株価指数（TOPIX）の指数値の算出若しくは公表の方法の変更、東証株価指数（TOPIX）の指数値の算出若しくは公表の停止又は東証株価指数（TOPIX）に係る標章若しくは商標の変更若しくは使用の停止を行うことができる。
- ③J P Xは、東証株価指数（TOPIX）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）に係る標章又は商標の使用に関して得られる結果並びに特定日の東証株価指数（TOPIX）の指数値について、何ら保証、言及をするものではない。
- ④J P Xは、東証株価指数（TOPIX）の指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではない。また、J P Xは、東証株価指数（TOPIX）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。
- ⑤本件商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではない。
- ⑥J P Xは、本件商品の購入者又は公衆に対し、本件商品の説明又は投資のアドバイスをする義務を負わない。
- ⑦J P Xは、当社又は本件商品の購入者のニーズを東証株価指数（TOPIX）の指数値を算出する銘柄構成及び計算に考慮するものではない。
- ⑧以上の項目に限らず、J P Xは本件商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても責任を有しない。

■MSCI-KOKUSAI指数■

MSCI-KOKUSAI指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

本ファンドは、MSCI Inc.、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者が、保証、推奨、販売、または宣伝するものではありません。MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCI及びMSCI指数は、MSCI及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、本ファンドの所有者または不特定多数の公衆に対して、ファンド全般的またはこの特定のファンドへの投資に関する当否あるいは一般的な株式市場のパフォーマンスをトラックしているMSCI指数の能力に関して、明示的であると黙示的であるとを問わず、一切の表明または保証を行いません。MSCIとその関連会社は、特定のトレードマーク、サービスマーク、トレードネームのライセンスの所有者であり、MSCI指数は、本ファンドまたは本ファンドの発行会社あるいは所有者に関わらず、MSCIにより決定、作成、及び計算されています。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、MSCI指数の決定、作成、あるいは計算において、本ファンドの発行者または所有者の要求を考慮にいれる義務は一切ありません。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、本ファンドの発行時期、発行価格または発行数量の決定について、また、本ファンドを現金に償還する方程式の決定また計算について責任を負うものではなく、参加もしていません。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、本ファンドの所有者に対し、本ファンドの管理、マーケティングまたは募集に関連するいかなる義務または責任も負いません。

MSCIは、自らが信頼できると考える情報源から本件指数の計算に算入される情報またはその計算に使用するための情報を入手しますが、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、本件指数またはそれに含まれるいかなるデータの独創性、正確性及び／または完全性について保証するものでは

ありません。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、明示的にも黙示的にも、被許諾者、その顧客または相手方、本件ファンドの発行会社、本件ファンドの所有者その他の個人・法人が、本契約にもとづき許諾される権利またはその他使用のために許諾される権利に関連して本件指数またはそれに含まれるデータを使用することにより得られる結果について保証をおこなうものではありません。MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、本件指数及びそれに含まれるデータの、またはそれに関連する過誤、省略または中断に対してまたはそれらに関して責任を負うことはありません。本件指数及びそれに含まれるデータに関し、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、明示的、黙示的な保証を行うものでもなく、かつMSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、特定目的のための市場性または適切性について、何ら保証を行うものではないことを明記します。前記事項を制限することなく、たとえ直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、拡大的損害その他のあらゆる損害（逸失利益を含む。）につき、その可能性について知らせを受けていたとしても、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者は、いかなる場合においてもかかる損害について責任を負いません。

本証券の購入者、販売者、または所有者あるいはいかなる個人・法人は、MSCIの許諾が必要かどうかの決定をあらかじめMSCIに問い合わせることなく、本証券を保証、推奨、売買、又は宣伝するためにいかなるMSCIのトレードネーム、トレードマーク、又はサービスマークを使用または言及することはできません。いかなる場合においても、いかなる個人または法人は、事前にMSCIの書面による許諾を得ることなくMSCIとの関係を一切主張することはできません。

■東証REIT指数（配当込み）■

- ①東証REIT指数（配当込み）の指数値及び東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有する。
- ②J P Xは、東証REIT指数（配当込み）の指数値の算出若しくは公表の方法の変更、東証REIT指数（配当込み）の指数値の算出若しくは公表の停止又は東証REIT指数（配当込み）に係る標章若しくは商標の変更若しくは使用の停止を行うことができる。
- ③J P Xは、東証REIT指数（配当込み）の指数値及び東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標の使用に関して得られる結果並びに特定日の東証REIT指数（配当込み）の指数値について、何ら保証、言及をするものではない。
- ④J P Xは、東証REIT指数（配当込み）の指数値及びそこに含まれるデータの正確性、完全性を保証するものではない。また、J P Xは、東証REIT指数（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負わない。
- ⑤本件商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではない。
- ⑥J P Xは、本件商品の購入者又は公衆に対し、本件商品の説明又は投資のアドバイスをする義務を負わない。
- ⑦J P Xは、当社又は本件商品の購入者のニーズを東証REIT指数（配当込み）の指数値を算出する銘柄構成及び計算に考慮するものではない。
- ⑧以上の項目に限らず、J P Xは本件商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても責任を有しない。

■S&P先進国REIT指数■

本ファンドは、スタンダード&プアーズ及びその関連会社（以下、S&P）により、何ら支援、推奨、販売または販促されるものではありません。

S&Pは、ファンドの所有者または不特定多数の公衆に対して、証券への全般的またはこの特定のファンドへの投資に関する当否あるいはS&P先進国REIT指数の一般的な株式市場のパフォーマンスをトラックする能力に関して、明示的であると黙示的であるとを問わず、一切の表明または保証を行いません。

S&Pは、被許諾者とは、S&PおよびS&P先進国REIT指数の特定のトレードマークとトレードネームのライセンス使用を与えているのみの関係であり、S&P先進国REIT指数は、被許諾者あるいは本ファンドに関係なくS&Pにより決定、作成、および計算されています。

S&Pは、S&P先進国REIT指数の決定、作成、および計算において、被許諾者あるいは本ファンドの所有者の要求を考慮に入れる義務を一切負いません。

S&Pは、本ファンドの発行価格および発行数量の決定、あるいは本ファンドの発行または販売のタイミングや本ファンドを換金する際の方程式の決定または計算について、責任を負うものではなく、参加もしていません。

S&Pは、本ファンドの管理、マーケティングまたは売買に関連するいかなる義務または責任も負いません。

S&Pは、S&P先進国REIT指数またはそこに含まれるデータの正確性および／または完全性について保証するものではなく、それに関連する過誤、省略または中断に対して責任を負うことはありません。

S&Pは、被許諾者、ファンドの所有者またはその他のいかなる個人・法人がS&P先進国REIT指数またはそこに含まれるデータを使用することによって得られる結果について、明示的であると黙示的であるとを問わず、一切の保証を行いません。

S&Pは、明示的あるいは黙示的保証を行なうものではなく、かつ、S&P先進国REIT指数またはそこに含まれるデータに関連して、特定の目的あるいは使用のための市場性または適切性について何ら保証を行なうものではないことを明記します。

前記事項を制限することなく、S&Pは、たとえ特別の損害、懲罰的損害、間接的損害あるいは結果的損害（逸失利益を含む）につき、その可能性について通知を受けていたとしても、かかる損害について責任を負いません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

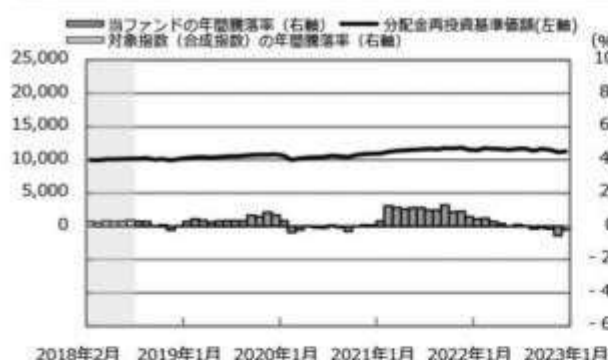
3 投資リスク

<更新後>

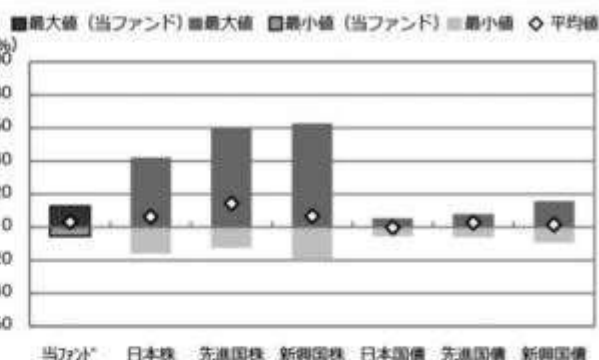
■ リスクの定量的比較 (2018年2月末～2023年1月末：月次)

安定コース

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



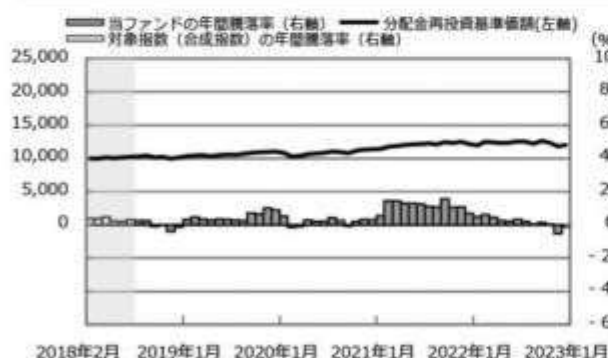
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	12.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値 (%)	△ 5.5	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	3.2	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年2月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。なお、2018年7月までは、対象指数（合成指数）の騰落率を表示しております。

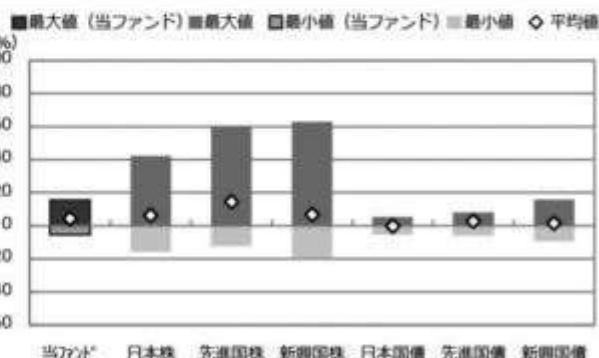
- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象指数（合成指数）を用いて算出しております。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

インカムコース

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



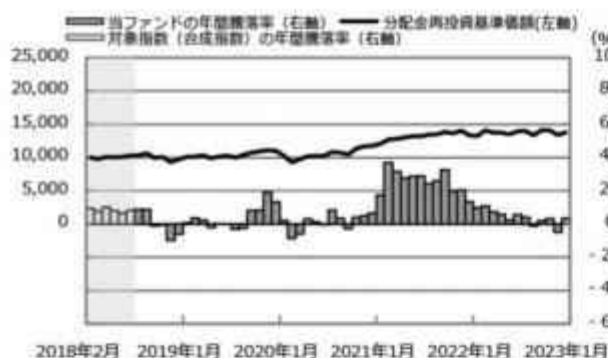
	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	15.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値 (%)	△ 5.4	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	4.4	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年2月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。なお、2018年7月までは、対象指数（合成指数）の騰落率を表示しております。

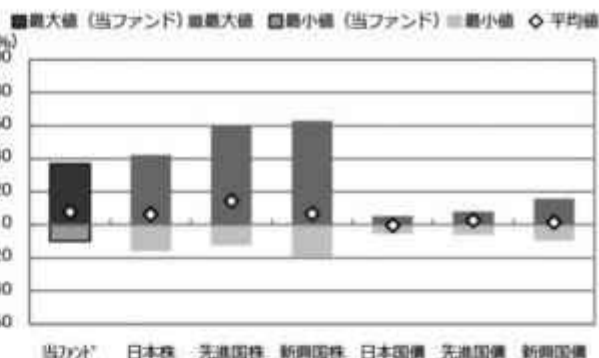
- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象指数（合成指数）を用いて算出しております。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

成長コース

ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値 (%)	36.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値 (%)	△ 9.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値 (%)	7.8	6.2	14.4	6.6	△ 0.2	2.8	1.6

- * 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものです。2018年2月末を10,000として指数化しております。
- * 年間騰落率は、2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率を表示したものです。なお、2018年7月までは、対象指数（合成指数）の騰落率を表示しております。

- * 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- * 2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以降の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象指数（合成指数）を用いて算出しております。
- * 決算日に対応した数値とは異なります。
- * 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

※分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

<代表的な資産クラスの指数>

- 日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
- 先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）
- 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
- 日本国債：NOMURA-BPI国債
- 先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
- 新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

■代表的な資産クラスの指数の著作権等について■

- 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）・・・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標は、株式会社J P X 総研又は株式会社J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標準又は商標はJ P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P X は責任を負いません。
- MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）・・・MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI国債・・・NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）・・・FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）・・・「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」（ここでは「指数」とよびます）についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価格や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに言われる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JP Morgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMS LLC」と呼びます）（「指数スポンサー」）は、指数に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての奨励、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に関連させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。JPMS LLCはNASDAQ、NYSE、SIPCの会員です。JP MorganはJP Morgan Chase Bank, NA、JP SI、J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC（他）

4 手数料等及び税金

（５）課税上の取扱い

<更新後>

課税上は、株式投資信託として取扱われます。

- ◆受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税、復興特別所得税および地方税がかかりません。

なお、上記以外の受益者(法人)の場合の課税の取扱いは以下の通りです。

分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに換金(解約)時および償還時の個別元本超過額については、15.315%(国税(所得税及び復興特別所得税) 15.315%)の税率で源泉徴収[※]が行なわれます。なお、地方税の源泉徴収はありません。

※源泉税は所有期間に応じて法人税額から控除

税金の取扱いの詳細については税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

■個別元本について■

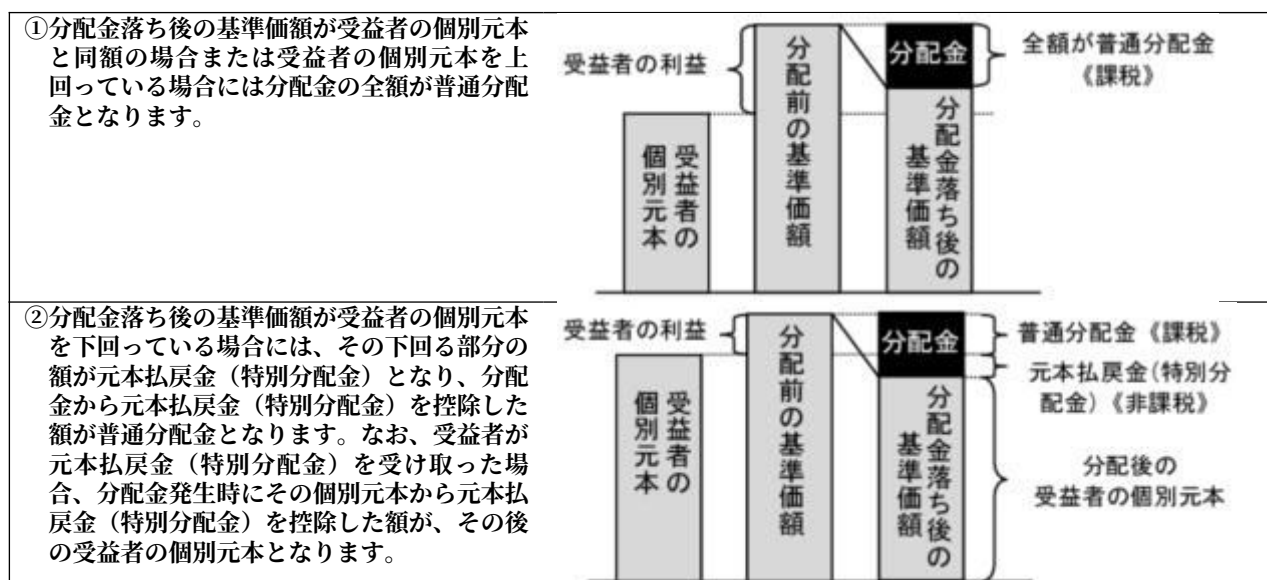
- ◆追加型投資信託を保有する受益者毎の取得元本をいいます。
- ◆受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合や受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合などには、当該受益者の個別元本が変わりますので、詳しくは販売会社へお問い合わせください。

■換金（解約）時および償還時の課税について■

- ◆換金（解約）時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。
- 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■分配金の課税について■

- ◆分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。



※上図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

*外貨建資産への投資により外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

*税法が改正された場合等は、上記「(5)課税上の取扱い」の内容（2023年1月末現在）が変更になる場合が

あります。

5 運用状況

以下は2023年1月31日現在の運用状況であります。

また、投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）安定コース

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	613,915,071	99.96
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	184,299	0.03
合計（純資産総額）		614,099,370	100.00

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）インカムコース

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	288,630,208	99.97
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	75,791	0.02
合計（純資産総額）		288,705,999	100.00

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）成長コース

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	688,760,196	99.96
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	207,342	0.03
合計（純資産総額）		688,967,538	100.00

（参考）国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	692,182,266,550	80.96
地方債証券	日本	55,472,141,024	6.48
特殊債券	日本	62,715,258,088	7.33
社債券	日本	40,296,942,150	4.71
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	4,284,934,037	0.50
合計（純資産総額）		854,951,541,849	100.00

（参考）外国債券マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	328,704,708,978	49.24
	カナダ	13,796,516,105	2.06
	メキシコ	5,487,171,485	0.82
	ドイツ	37,926,127,844	5.68
	イタリア	57,983,917,022	8.68
	フランス	50,195,714,588	7.51
	オランダ	8,740,383,031	1.30
	スペイン	38,933,503,784	5.83
	ベルギー	13,522,422,173	2.02
	オーストリア	8,327,910,347	1.24
	フィンランド	2,225,916,280	0.33
	アイルランド	4,438,630,122	0.66
	イギリス	32,605,215,946	4.88
	スウェーデン	1,332,803,184	0.19
	ノルウェー	1,387,146,247	0.20
	デンマーク	2,196,326,163	0.32
	ポーランド	3,036,257,134	0.45
	オーストラリア	10,914,930,451	1.63
	ニュージーランド	1,485,082,006	0.22
	シンガポール	3,138,277,905	0.47
	マレーシア	3,799,051,032	0.56
	中国	26,544,173,276	3.97
	イスラエル	2,266,276,292	0.33
	小計	658,988,461,395	98.72
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	8,514,936,150	1.27
合計（純資産総額）		667,503,397,545	100.00

（参考）国内株式マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	473,175,141,560	98.68
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	6,306,364,584	1.31
合計（純資産総額）		479,481,506,144	100.00

その他の資産の投資状況

※その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
-------	----	------	---------	---------

株価指数先物取引	買建	日本	4,918,995,000	1.02
----------	----	----	---------------	------

（参考）外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	977,263,006,040	68.81
	カナダ	51,809,017,760	3.64
	ドイツ	36,643,175,471	2.58
	イタリア	10,310,825,538	0.72
	フランス	51,279,214,420	3.61
	オランダ	20,347,673,164	1.43
	スペイン	10,790,816,610	0.75
	ベルギー	3,522,113,874	0.24
	オーストリア	833,086,262	0.05
	ルクセンブルグ	332,913,164	0.02
	フィンランド	4,179,212,462	0.29
	アイルランド	3,133,879,062	0.22
	ポルトガル	948,216,160	0.06
	イギリス	64,743,153,191	4.55
	スイス	43,180,280,292	3.04
	スウェーデン	14,491,905,017	1.02
	ノルウェー	3,006,036,701	0.21
	デンマーク	12,199,417,281	0.85
	オーストラリア	33,201,541,026	2.33
	ニュージーランド	834,877,443	0.05
	香港	11,756,943,920	0.82
	シンガポール	5,070,727,392	0.35
	イスラエル	1,967,454,297	0.13
	小計	1,361,845,486,547	95.89
投資証券	アメリカ	28,101,207,036	1.97
	カナダ	163,450,516	0.01
	フランス	615,061,354	0.04
	ベルギー	153,150,933	0.01
	イギリス	663,078,377	0.04
	オーストラリア	1,988,910,146	0.14
	香港	538,334,460	0.03
	シンガポール	663,079,612	0.04
	小計	32,886,272,434	2.31
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	25,476,210,473	1.79
合計（純資産総額）		1,420,207,969,454	100.00

その他の資産の投資状況

※その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	18,466,821,636	1.30
	買建	カナダ	944,014,855	0.06
	買建	ドイツ	2,624,338,368	0.18
	買建	イギリス	1,201,938,849	0.08
	買建	スイス	796,777,404	0.05
	買建	オーストラリア	648,625,898	0.04

（参考）J－REITインデックス マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	日本	43,182,810,300	97.10
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	1,288,929,845	2.89
合計（純資産総額）		44,471,740,145	100.00

その他の資産の投資状況

※その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
REIT指数先物取引	買建	日本	1,284,666,000	2.88

（参考）海外REITインデックス マザーファンド

資産の種類	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
投資証券	アメリカ	44,495,438,021	76.01
	カナダ	1,106,994,423	1.89
	ドイツ	26,845,438	0.04
	イタリア	7,019,960	0.01
	フランス	1,088,119,555	1.85
	オランダ	110,853,371	0.18
	スペイン	245,900,691	0.42
	ベルギー	633,108,963	1.08
	アイルランド	22,091,854	0.03
	シンガポール	27,094,584	0.04
	イギリス	2,891,283,507	4.93
	オーストラリア	4,023,159,341	6.87

	ニュージーランド	228,321,031	0.39
	香港	898,008,692	1.53
	シンガポール	2,098,513,126	3.58
	韓国	140,990,109	0.24
	イスラエル	74,958,974	0.12
	小計	58,118,701,640	99.29
現金・預金・その他資産（負債控除後）	—	413,934,851	0.70
合計（純資産総額）		58,532,636,491	100.00

その他の資産の投資状況

※その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。
評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

資産の種類	建別	国／地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株価指数先物取引	買建	アメリカ	369,177,905	0.63

（２）投資資産

①投資有価証券の主要銘柄

野村世界６資産分散投信（DC）安定コース

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	国内債券NOMURA－BPI総合マザーファンド	289,905,254	1.2870	373,129,859	1.2554	363,947,055	59.26
2	日本	親投資信託 受益証券	外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド	20,742,956	4.4966	93,274,052	4.5652	94,695,742	15.42
3	日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド	24,753,198	2.5965	64,273,195	2.4885	61,598,333	10.03
4	日本	親投資信託 受益証券	海外REITインデックスマザーファンド	10,315,040	3.1931	32,937,411	3.1486	32,477,934	5.28
5	日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド	14,797,919	2.0546	30,404,878	2.1461	31,757,813	5.17
6	日本	親投資信託 受益証券	J－REITインデックスマザーファンド	11,562,073	2.6761	30,941,686	2.5461	29,438,194	4.79

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.96
合 計	99.96

野村世界６資産分散投信（DC）インカムコース

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
----	------	----	-----	----	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

1	日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド	57,829,357	2.6003	150,373,678	2.4885	143,908,354	49.84
2	日本	親投資信託 受益証券	国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド	45,154,277	1.2876	58,140,648	1.2554	56,686,679	19.63
3	日本	親投資信託 受益証券	外国株式MSCI－KOKUSAI マザーファンド	9,694,207	4.4970	43,594,849	4.5652	44,255,993	15.32
4	日本	親投資信託 受益証券	海外REITインデックス マザーファンド	4,820,603	3.1972	15,412,432	3.1486	15,178,150	5.25
5	日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド	6,915,705	2.0555	14,215,232	2.1461	14,841,794	5.14
6	日本	親投資信託 受益証券	J－REITインデックス マザーファンド	5,404,045	2.6783	14,473,654	2.5461	13,759,238	4.76

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.97
合 計	99.97

野村世界６資産分散投信（DC）成長コース

順位	国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	国内株式マザーファンド	113,714,583	2.0568	233,888,155	2.1461	244,042,866	35.42
2	日本	親投資信託 受益証券	外国株式MSCI－KOKUSAI マザーファンド	53,134,643	4.5009	239,153,715	4.5652	242,570,272	35.20
3	日本	親投資信託 受益証券	外国債券マザーファンド	27,162,829	2.6004	70,634,221	2.4885	67,594,699	9.81
4	日本	親投資信託 受益証券	国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド	53,034,223	1.2868	68,244,439	1.2554	66,579,163	9.66
5	日本	親投資信託 受益証券	海外REITインデックス マザーファンド	11,324,019	3.2023	36,262,907	3.1486	35,654,806	5.17
6	日本	親投資信託 受益証券	J－REITインデックス マザーファンド	12,693,292	2.6782	33,995,175	2.5461	32,318,390	4.69

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	99.96
合 計	99.96

（参考）国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

順位	国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
1	日本	国債証券	国庫債券 利付（10年） 第347回	12,000,000,000	100.39	12,047,224,000	99.84	11,981,640,000	0.1	2027/6/20	1.40
2	日本	国債証券	国庫債券 利付（10年） 第365回	12,000,000,000	98.90	11,868,525,000	96.14	11,537,760,000	0.1	2031/12/20	1.34

3	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１５３回	11,500,000,000	99.94	11,493,440,000	99.43	11,434,795,000	0.005	2027/6/20	1.33
4	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６３回	11,450,000,000	99.11	11,348,245,500	96.43	11,041,578,500	0.1	2031/6/20	1.29
5	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６４回	11,150,000,000	98.53	10,986,620,000	96.25	10,731,986,500	0.1	2031/9/20	1.25
6	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１３９回	10,200,000,000	100.29	10,229,625,000	100.16	10,217,238,000	0.1	2024/3/20	1.19
7	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３５０回	10,150,000,000	100.20	10,171,112,000	99.41	10,090,724,000	0.1	2028/3/20	1.18
8	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６０回	10,000,000,000	99.31	9,931,800,000	97.13	9,713,000,000	0.1	2030/9/20	1.13
9	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６１回	10,000,000,000	99.20	9,920,616,000	96.85	9,685,600,000	0.1	2030/12/20	1.13
10	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１４１回	9,600,000,000	100.33	9,631,968,000	100.21	9,620,352,000	0.1	2024/9/20	1.12
11	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６２回	9,700,000,000	99.16	9,619,306,000	96.64	9,374,856,000	0.1	2031/3/20	1.09
12	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３３８回	9,000,000,000	101.29	9,116,280,000	100.87	9,078,480,000	0.4	2025/3/20	1.06
13	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３５９回	9,200,000,000	99.31	9,136,680,000	97.43	8,963,560,000	0.1	2030/6/20	1.04
14	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３４６回	8,600,000,000	100.38	8,633,382,000	99.95	8,596,388,000	0.1	2027/3/20	1.00
15	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１４８回	7,300,000,000	100.00	7,300,000,000	99.88	7,291,313,000	0.005	2026/6/20	0.85
16	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３３９回	7,000,000,000	101.35	7,094,810,000	100.94	7,065,800,000	0.4	2025/6/20	0.82
17	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３４５回	7,000,000,000	100.35	7,024,710,000	100.05	7,004,060,000	0.1	2026/12/20	0.81
18	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３６７回	7,000,000,000	100.03	7,002,640,000	98.90	6,923,490,000	0.2	2032/6/20	0.80
19	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３５８回	6,970,000,000	99.04	6,903,543,000	97.85	6,820,284,400	0.1	2030/3/20	0.79
20	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３４８回	6,800,000,000	100.25	6,817,030,000	99.74	6,782,796,000	0.1	2027/9/20	0.79
21	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３３４回	6,600,000,000	101.42	6,693,786,000	100.87	6,657,882,000	0.6	2024/6/20	0.77
22	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３５１回	6,500,000,000	100.06	6,503,935,000	99.25	6,451,640,000	0.1	2028/6/20	0.75
23	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３４４回	6,400,000,000	100.37	6,424,256,000	100.14	6,409,216,000	0.1	2026/9/20	0.74
24	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１５０回	6,300,000,000	100.03	6,301,890,000	99.69	6,280,470,000	0.005	2026/12/20	0.73
25	日本	国債証券	国庫債券 利付（５年）第１４３回	6,070,000,000	100.40	6,094,280,000	100.23	6,084,203,800	0.1	2025/3/20	0.71
26	日本	国債証券	国庫債券 利付（１０年）第３４３回	6,000,000,000	100.40	6,024,000,000	100.20	6,012,120,000	0.1	2026/6/20	0.70

27	日本	国債証券	国庫債券 利付（20年）第174回	6,970,000,000	95.35	6,646,218,000	85.85	5,984,302,600	0.4	2040/9/20	0.69
28	日本	国債証券	国庫債券 利付（10年）第341回	5,900,000,000	101.13	5,966,800,000	100.82	5,948,439,000	0.3	2025/12/20	0.69
29	日本	国債証券	国庫債券 利付（10年）第335回	5,600,000,000	101.30	5,673,178,000	100.86	5,648,440,000	0.5	2024/9/20	0.66
30	日本	国債証券	国庫債券 利付（5年）第147回	5,600,000,000	100.03	5,602,184,000	99.93	5,596,472,000	0.005	2026/3/20	0.65

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	80.96
地方債証券	6.48
特殊債券	7.33
社債券	4.71
合 計	99.49

（参考）外国債券マザーファンド

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	利率(%)	償還期限	投資比率(%)
1	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	157,450,000	15,345.55	24,161,573,412	14,666.66	23,092,659,962	5.375	2031/2/15	3.45
2	アメリカ	国債証券	US TREASURY BOND	140,750,000	14,649.06	20,618,557,523	14,107.57	19,856,415,448	5.25	2028/11/15	2.97
3	アメリカ	国債証券	US TREASURY BOND	132,000,000	14,126.01	18,646,336,757	13,808.92	18,227,779,581	6	2026/2/15	2.73
4	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	83,400,000	15,623.70	13,030,173,786	15,227.27	12,699,547,380	6.25	2030/5/15	1.90
5	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	86,600,000	12,977.97	11,238,930,315	12,691.26	10,990,634,981	2.5	2024/5/15	1.64
6	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	75,000,000	12,302.01	9,226,512,225	12,042.99	9,032,243,700	1.625	2026/11/30	1.35
7	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	67,500,000	12,667.82	8,550,779,555	12,332.21	8,324,246,810	2.375	2027/5/15	1.24
8	アメリカ	国債証券	US TREASURY BOND	62,000,000	12,918.59	8,009,528,305	12,631.12	7,831,298,663	2.375	2024/8/15	1.17
9	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	75,850,000	10,819.12	8,206,302,978	10,029.37	7,607,277,988	2.375	2051/5/15	1.13
10	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	53,600,000	12,910.92	6,920,255,106	12,529.45	6,715,786,060	2.875	2028/5/15	1.00
11	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	40,150,000	18,012.94	7,232,197,842	16,552.61	6,645,873,237	5.5	2029/4/25	0.99
12	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	38,850,000	18,880.65	7,335,135,911	16,724.83	6,497,597,502	4.75	2035/4/25	0.97
13	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	50,850,000	12,920.91	6,570,287,028	12,665.27	6,440,290,902	2.125	2024/3/31	0.96
14	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	51,300,000	12,759.18	6,545,460,261	12,446.37	6,384,992,296	2.25	2025/11/15	0.95
15	アメリカ	国債証券	US TREASURY BOND	44,200,000	14,785.12	6,535,025,514	14,408.78	6,368,681,037	6.125	2027/11/15	0.95
16	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	40,550,000	16,607.20	6,734,219,983	15,472.50	6,274,101,994	5.25	2029/11/1	0.93
17	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	48,800,000	13,044.72	6,365,826,721	12,685.40	6,190,477,005	2.875	2025/4/30	0.92
18	イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	35,450,000	17,236.92	6,110,488,999	16,001.94	5,672,688,581	6.5	2027/11/1	0.84

19	スペイン	国債証券	SPANISH GOVERNMENT	34,000,000	17,992.61	6,117,489,804	16,519.51	5,616,633,821	6	2029/1/31	0.84
20	ドイツ	国債証券	BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	32,100,000	19,091.46	6,128,360,240	17,414.00	5,589,895,091	5.5	2031/1/4	0.83
21	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	43,700,000	12,981.76	5,673,031,305	12,751.97	5,572,611,239	2.25	2023/12/31	0.83
22	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	43,750,000	13,073.42	5,719,624,347	12,701.45	5,556,887,890	3	2025/9/30	0.83
23	フランス	国債証券	FRANCE GOVERNMENT O.A.T	36,400,000	15,598.04	5,677,689,047	14,537.50	5,291,651,529	3.5	2026/4/25	0.79
24	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	42,050,000	12,844.34	5,401,048,977	12,575.31	5,287,921,907	2.25	2024/11/15	0.79
25	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	42,300,000	12,771.78	5,402,466,828	12,450.71	5,266,650,478	2.375	2026/4/30	0.78
26	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	49,700,000	11,025.73	5,479,789,783	10,417.21	5,177,355,389	2.5	2046/2/15	0.77
27	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	44,800,000	12,003.21	5,377,439,998	11,457.91	5,133,146,299	3	2044/11/15	0.76
28	スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	32,050,000	16,862.62	5,404,472,018	15,592.08	4,997,262,836	5.9	2026/7/30	0.74
29	スペイン	国債証券	SPANISH GOVERNMENT	27,950,000	18,854.37	5,269,798,204	17,100.44	4,779,575,216	5.75	2032/7/30	0.71
30	アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	44,700,000	11,024.69	4,928,037,127	10,478.37	4,683,832,228	2.5	2045/2/15	0.70

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	98.72
合 計	98.72

（参考）国内株式マザーファンド

順位	国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	9,150,500	2,150.84	19,681,337,860	1,896.50	17,353,923,250	3.61
2	日本	株式	ソニーグループ	電気機器	1,178,800	10,575.49	12,466,397,750	11,580.00	13,650,504,000	2.84
3	日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	10,420,900	750.26	7,818,467,509	952.70	9,927,991,430	2.07
4	日本	株式	キーエンス	電気機器	166,700	50,478.44	8,414,756,061	59,280.00	9,881,976,000	2.06
5	日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	2,141,600	3,867.26	8,282,143,839	3,892.00	8,335,107,200	1.73
6	日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1,199,400	3,976.52	4,769,449,197	5,652.00	6,779,008,800	1.41
7	日本	株式	武田薬品工業	医薬品	1,479,100	3,786.43	5,600,518,257	4,090.00	6,049,519,000	1.26
8	日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	966,300	4,985.85	4,817,827,407	6,144.00	5,936,947,200	1.23
9	日本	株式	任天堂	その他製品	1,052,100	5,668.76	5,964,103,580	5,625.00	5,918,062,500	1.23
10	日本	株式	第一三共	医薬品	1,456,000	3,435.44	5,002,004,287	4,064.00	5,917,184,000	1.23
11	日本	株式	日立製作所	電気機器	818,400	6,474.53	5,298,755,352	6,782.00	5,550,388,800	1.15
12	日本	株式	信越化学工業	化学	281,700	17,677.28	4,979,692,374	19,075.00	5,373,427,500	1.12
13	日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	117,600	52,386.60	6,160,664,860	45,170.00	5,311,992,000	1.10
14	日本	株式	リクルートホールディングス	サービス業	1,268,300	4,365.76	5,537,094,362	4,144.00	5,255,835,200	1.09
15	日本	株式	KDDI	情報・通信業	1,291,500	4,336.27	5,600,295,406	4,059.00	5,242,198,500	1.09
16	日本	株式	HOYA	精密機器	355,900	12,599.04	4,483,998,578	14,200.00	5,053,780,000	1.05
17	日本	株式	三井物産	卸売業	1,290,100	3,169.12	4,088,486,962	3,820.00	4,928,182,000	1.02

18	日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2,373,600	1,591.99	3,778,764,756	2,027.50	4,812,474,000	1.00
19	日本	株式	三菱商事	卸売業	1,102,400	4,137.37	4,561,037,550	4,336.00	4,780,006,400	0.99
20	日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	1,086,400	3,711.38	4,032,053,071	4,183.00	4,544,411,200	0.94
21	日本	株式	ダイキン工業	機械	200,900	19,905.57	3,999,029,950	22,470.00	4,514,223,000	0.94
22	日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	1,652,700	2,363.13	3,905,555,909	2,714.00	4,485,427,800	0.93
23	日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	1,354,600	3,342.08	4,527,194,677	3,207.00	4,344,202,200	0.90
24	日本	株式	ソフトバンク	情報・通信業	2,685,000	1,509.51	4,053,034,770	1,486.50	3,991,252,500	0.83
25	日本	株式	オリエンタルランド	サービス業	181,300	17,434.61	3,160,895,327	21,580.00	3,912,454,000	0.81
26	日本	株式	ファナック	電気機器	163,600	19,723.09	3,226,698,280	22,905.00	3,747,258,000	0.78
27	日本	株式	村田製作所	電気機器	505,400	8,154.43	4,121,253,071	7,394.00	3,736,927,600	0.77
28	日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	607,700	5,690.94	3,458,386,154	6,127.00	3,723,377,900	0.77
29	日本	株式	SMC	機械	54,600	61,683.19	3,367,902,209	65,350.00	3,568,110,000	0.74
30	日本	株式	富士通	電気機器	167,700	19,207.70	3,221,132,494	18,510.00	3,104,127,000	0.64

種類別及び業種別投資比率

種類	国内／国外	業種	投資比率(%)
株式	国内	水産・農林業	0.08
		鉱業	0.30
		建設業	1.92
		食料品	3.37
		繊維製品	0.46
		パルプ・紙	0.17
		化学	6.12
		医薬品	5.29
		石油・石炭製品	0.48
		ゴム製品	0.70
		ガラス・土石製品	0.70
		鉄鋼	0.83
		非鉄金属	0.73
		金属製品	0.56
		機械	5.16
		電気機器	17.15
		輸送用機器	7.31
		精密機器	2.58
		その他製品	2.28
		電気・ガス業	1.22
		陸運業	2.94
		海運業	0.59
		空運業	0.50
		倉庫・運輸関連業	0.13
		情報・通信業	8.80

		卸売業	5.84
		小売業	4.48
		銀行業	6.48
		証券、商品先物取引業	0.75
		保険業	2.37
		その他金融業	1.12
		不動産業	1.87
		サービス業	5.24
合 計			98.68

（参考）外国株式MSC I－KOKUSA Iマザーファンド

順位	国／ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	アメリカ	株式	APPLE INC	コン ピュー タ・周辺 機器	3,468,400	22,656.97	78,583,464,503	18,657.21	64,710,667,164	4.55
2	アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフト ウェア	1,529,100	39,956.56	61,097,590,387	31,666.37	48,421,052,025	3.40
3	アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	インター ネット販 売・通信 販売	1,978,800	20,732.54	41,025,553,371	13,118.75	25,959,399,320	1.82
4	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	インタラ クティ ブ・メ ディアお よびサー ビス	1,294,100	17,911.05	23,178,702,076	12,647.76	16,367,468,545	1.15
5	アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	インタラ クティ ブ・メ ディアお よびサー ビス	1,197,100	18,030.22	21,583,980,356	12,779.53	15,298,383,144	1.07
6	アメリカ	株式	NVIDIA CORP	半導体・ 半導体製 造装置	537,440	34,129.25	18,342,428,003	25,000.66	13,436,355,463	0.94
7	アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORP	石油・ガ ス・消耗 燃料	899,500	11,100.83	9,985,199,053	14,816.17	13,327,147,793	0.93
8	アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケ ア・プロ バイダー/ ヘルスケ ア・サー ビス	201,870	67,732.69	13,673,199,294	63,381.02	12,794,726,770	0.90
9	アメリカ	株式	TESLA INC	自動車	574,800	44,826.18	25,766,091,585	21,744.13	12,498,526,039	0.88
10	アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品	567,400	23,326.74	13,235,593,932	21,136.14	11,992,645,836	0.84
11	アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	632,900	18,005.16	11,395,471,498	18,152.29	11,488,585,037	0.80
12	アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC CL B	各種金融 サービス	280,800	45,539.59	12,787,517,954	40,097.34	11,259,334,504	0.79
13	アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	情報技術 サービス	352,900	28,849.53	10,181,000,382	29,890.67	10,548,419,913	0.74
14	アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品	514,800	19,952.20	10,271,396,248	18,397.57	9,471,071,456	0.66
15	アメリカ	株式	META PLATFORMS INC- CLASS A	インタラ クティ ブ・メ ディアお よびサー ビス	492,200	28,616.71	14,085,149,397	19,186.91	9,443,801,138	0.66

16	スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品	593,500	16,866.96	10,010,544,850	15,683.05	9,307,890,650	0.65
17	アメリカ	株式	CHEVRON CORP	石油・ガス・消耗燃料	401,300	21,517.80	8,635,093,284	22,727.87	9,120,695,836	0.64
18	アメリカ	株式	HOME DEPOT	専門小売り	220,900	40,033.27	8,843,350,059	40,998.89	9,056,655,420	0.63
19	アメリカ	株式	MASTERCARD INC	情報技術サービス	186,200	46,726.81	8,700,532,868	48,420.02	9,015,808,916	0.63
20	アメリカ	株式	ELI LILLY & CO.	医薬品	174,300	38,374.71	6,688,712,686	44,425.03	7,743,283,600	0.54
21	アメリカ	株式	MERCK & CO INC	医薬品	546,700	10,953.92	5,988,510,216	13,841.56	7,567,182,109	0.53
22	オランダ	株式	ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	87,730	85,719.16	7,520,142,172	85,417.30	7,493,660,080	0.52
23	アメリカ	株式	ABBVIE INC	バイオテクノロジー	381,600	21,125.75	8,061,587,501	19,002.95	7,251,527,819	0.51
24	アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	1,561,000	5,455.23	8,515,626,528	4,605.59	7,189,327,551	0.50
25	アメリカ	株式	COCA COLA CO	飲料	886,700	8,108.27	7,189,607,430	7,911.70	7,015,305,099	0.49
26	アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品	1,211,500	6,781.72	8,216,056,384	5,681.96	6,883,704,838	0.48
27	フランス	株式	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	繊維・アパレル・贅沢品	59,740	92,868.74	5,547,979,060	113,078.12	6,755,287,367	0.47
28	アメリカ	株式	BROADCOM INC	半導体・半導体製造装置	87,150	80,658.19	7,029,361,635	75,861.78	6,611,354,258	0.46
29	アメリカ	株式	PEPSICO INC	飲料	297,900	21,970.83	6,545,111,479	22,112.05	6,587,181,363	0.46
30	デンマーク	株式	NOVO NORDISK A/S-B	医薬品	357,300	14,500.95	5,181,190,746	18,297.34	6,537,641,368	0.46

種類別及び業種別投資比率

種類	国内／国外	業種	投資比率(%)
株式	国外	インタラクティブ・メディアおよびサービス	3.04
		メディア	0.81
		娯楽	1.18
		不動産管理・開発	0.35
		エネルギー設備・サービス	0.30
		石油・ガス・消耗燃料	5.37
		化学	2.09
		建設資材	0.26
		容器・包装	0.25
		金属・鉱業	1.83
		紙製品・林産品	0.10
		航空宇宙・防衛	1.69
		建設関連製品	0.58
		建設・土木	0.28
		電気設備	0.84
		コングロマリット	0.93
		機械	1.83
		商社・流通業	0.38
		商業サービス・用品	0.48
		航空貨物・物流サービス	0.54

旅客航空輸送業	0.06
海運業	0.06
陸運・鉄道	1.02
運送インフラ	0.11
自動車部品	0.19
自動車	1.54
家庭用耐久財	0.29
レジャー用品	0.02
繊維・アパレル・贅沢品	1.42
ホテル・レストラン・レジャー	1.95
販売	0.11
インターネット販売・通信販売	2.23
複合小売り	0.46
専門小売り	1.68
食品・生活必需品小売り	1.50
飲料	1.76
食品	1.69
タバコ	0.68
家庭用品	1.11
パーソナル用品	0.64
ヘルスケア機器・用品	2.37
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	2.32
バイオテクノロジー	2.06
医薬品	5.28
銀行	6.22
各種金融サービス	1.06
保険	3.39
情報技術サービス	3.73
ソフトウェア	6.49
通信機器	0.66
コンピュータ・周辺機器	4.77
電子装置・機器・部品	0.54
半導体・半導体製造装置	4.53
各種電気通信サービス	1.17
無線通信サービス	0.28
電力	1.85
ガス	0.13
総合公益事業	0.81
水道	0.11
消費者金融	0.41
資本市場	3.34
各種消費者サービス	0.00
独立系発電事業者・エネルギー販売業者	0.15

		ヘルスケア・テクノロジー	0.04
		ライフサイエンス・ツール/サービス	1.50
		専門サービス	0.69
投資証券	—	—	2.31
合 計			98.20

(参考) J－REITインデックス マザーファンド

順位	国／ 地域	種類	銘柄名	数量	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	投資証券	日本ビルファンド投資法人 投資証券	4,921	708,518	3,486,617,335	567,000	2,790,207,000	6.27
2	日本	投資証券	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	4,218	642,113	2,708,435,532	557,000	2,349,426,000	5.28
3	日本	投資証券	日本都市ファンド投資法人 投資証券	21,282	105,997	2,255,835,915	100,300	2,134,584,600	4.79
4	日本	投資証券	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	7,110	346,824	2,465,922,095	294,300	2,092,473,000	4.70
5	日本	投資証券	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	13,640	169,143	2,307,123,326	151,900	2,071,916,000	4.65
6	日本	投資証券	G L P投資法人 投資証券	13,614	165,331	2,250,821,235	146,700	1,997,173,800	4.49
7	日本	投資証券	大和ハウスリート投資法人 投資証券	6,358	316,602	2,012,958,256	282,800	1,798,042,400	4.04
8	日本	投資証券	オリックス不動産投資法人 投資証券	8,404	186,961	1,571,222,325	178,700	1,501,794,800	3.37
9	日本	投資証券	ユナイテッド・アーバン投資法人 投資証券	9,435	146,688	1,384,005,512	147,800	1,394,493,000	3.13
10	日本	投資証券	アドバンス・レジデンス投資法人 投資証券	4,217	357,284	1,506,670,577	317,500	1,338,897,500	3.01
11	日本	投資証券	ジャパン・ホテル・リート投資法人 投資証券	13,602	66,764	908,132,465	82,200	1,118,084,400	2.51
12	日本	投資証券	インヴィンシブル投資法人 投資証券	18,565	41,987	779,507,075	55,300	1,026,644,500	2.30
13	日本	投資証券	日本プライムリアルティ投資法人 投資証券	2,885	411,228	1,186,395,512	352,000	1,015,520,000	2.28
14	日本	投資証券	産業ファンド投資法人 投資証券	6,303	182,604	1,150,958,215	143,900	907,001,700	2.03
15	日本	投資証券	積水ハウス・リート投資法人 投資証券	12,675	79,381	1,006,158,414	71,000	899,925,000	2.02
16	日本	投資証券	アクティビア・プロパティーズ投資法人 投資証券	2,227	419,545	934,328,473	389,000	866,303,000	1.94

17	日本	投資証券	日本アコモデーションファンド投資法人 投資証券	1,456	668,163	972,845,389	583,000	848,848,000	1.90
18	日本	投資証券	日本ロジスティクスファンド投資法人 投資証券	2,844	324,468	922,787,496	296,100	842,108,400	1.89
19	日本	投資証券	ラサールロジポート投資法人 投資証券	5,164	176,252	910,168,370	157,300	812,297,200	1.82
20	日本	投資証券	フロンティア不動産投資法人 投資証券	1,565	530,391	830,061,955	501,000	784,065,000	1.76
21	日本	投資証券	ケネディクス・オフィス投資法人 投資証券	2,454	332,395	815,698,153	308,500	757,059,000	1.70
22	日本	投資証券	三井不動産ロジスティクスパーク投資法人 投資証券	1,666	544,709	907,485,310	453,500	755,531,000	1.69
23	日本	投資証券	森ヒルズリート投資法人 投資証券	4,960	152,347	755,645,437	147,600	732,096,000	1.64
24	日本	投資証券	イオンリート投資法人 投資証券	4,713	153,299	722,500,429	143,600	676,786,800	1.52
25	日本	投資証券	大和証券リビング投資法人 投資証券	5,845	116,748	682,392,998	108,700	635,351,500	1.42
26	日本	投資証券	ヒューリックリート投資法人 投資証券	3,946	161,825	638,563,735	155,200	612,419,200	1.37
27	日本	投資証券	ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人 投資証券	3,093	214,125	662,289,381	193,600	598,804,800	1.34
28	日本	投資証券	三菱地所物流リート投資法人 投資証券	1,449	456,369	661,279,289	408,500	591,916,500	1.33
29	日本	投資証券	コンフォリア・レジデンシャル投資法人 投資証券	1,974	332,575	656,503,522	288,900	570,288,600	1.28
30	日本	投資証券	東急リアル・エステート投資法人 投資証券	2,828	195,347	552,442,917	195,800	553,722,400	1.24

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	97.10
合 計	97.10

（参考）海外REITインデックス マザーファンド

順位	国／地域	種類	銘柄名	数量	簿価単価(円)	簿価金額(円)	評価単価(円)	評価金額(円)	投資比率(%)
1	アメリカ	投資証券	PROLOGIS INC	302,350	15,486.78	4,682,430,654	16,672.76	5,041,009,379	8.61
2	アメリカ	投資証券	EQUINIX INC	30,310	85,198.21	2,582,357,887	94,572.48	2,866,491,996	4.89
3	アメリカ	投資証券	PUBLIC STORAGE	51,750	40,345.23	2,087,866,072	38,996.17	2,018,052,227	3.44

4	アメリカ	投資証券	REALTY INCOME CORP	205,290	8,582.31	1,761,863,775	8,841.95	1,815,164,306	3.10
5	アメリカ	投資証券	SIMON PROPERTY GROUP INC	107,020	13,494.51	1,444,182,685	16,432.69	1,758,627,179	3.00
6	アメリカ	投資証券	WELLTOWER INC	154,650	10,523.71	1,627,491,782	9,722.62	1,503,603,863	2.56
7	アメリカ	投資証券	VICI PROPERTIES INC	315,200	3,994.99	1,259,221,290	4,420.32	1,393,285,999	2.38
8	アメリカ	投資証券	DIGITAL REALTY TRUST INC	94,090	16,920.65	1,592,064,363	14,486.08	1,362,995,653	2.32
9	オーストラリア	投資証券	GOODMAN GROUP	559,900	1,735.63	971,783,940	1,851.47	1,036,638,165	1.77
10	アメリカ	投資証券	AVALONBAY COMMUNITIES INC	45,770	25,285.08	1,157,298,386	22,606.53	1,034,701,194	1.76
11	アメリカ	投資証券	ALEXANDRIA REAL ESTATE EQUIT	48,850	19,492.21	952,194,849	20,533.36	1,003,055,056	1.71
12	アメリカ	投資証券	EQUITY RESIDENTIAL	111,270	9,340.34	1,039,300,444	8,096.96	900,949,652	1.53
13	アメリカ	投資証券	VENTAS INC	130,750	6,790.96	887,918,477	6,690.50	874,783,084	1.49
14	アメリカ	投資証券	EXTRA SPACE STORAGE INC	43,810	22,198.16	972,501,644	19,961.90	874,531,277	1.49
15	アメリカ	投資証券	MID-AMERICA APARTMENT COMM	37,770	21,920.26	827,928,398	21,103.52	797,080,045	1.36
16	アメリカ	投資証券	INVITATION HOMES INC	190,000	4,726.92	898,116,339	4,148.94	788,299,740	1.34
17	アメリカ	投資証券	SUN COMMUNITIES INC	40,520	20,333.74	823,923,530	19,262.59	780,520,179	1.33
18	アメリカ	投資証券	WP CAREY INC	68,040	10,604.60	721,537,093	11,058.63	752,429,675	1.28
19	香港	投資証券	LINK REIT	692,200	1,134.19	785,091,856	1,070.59	741,065,859	1.26
20	アメリカ	投資証券	IRON MOUNTAIN INC	95,050	6,746.60	641,264,682	7,105.39	675,367,909	1.15
21	アメリカ	投資証券	HEALTHPEAK PROPERTIES INC	175,700	3,366.12	591,428,338	3,540.95	622,145,934	1.06
22	アメリカ	投資証券	ESSEX PROPERTY TRUST INC	21,170	34,926.81	739,400,758	28,643.38	606,380,435	1.03
23	アメリカ	投資証券	KIMCO REALTY CORP	202,200	2,758.13	557,695,059	2,884.69	583,284,662	0.99
24	アメリカ	投資証券	GAMING AND LEISURE PROPERTIE	84,180	6,120.34	515,210,869	6,865.33	577,923,597	0.98
25	アメリカ	投資証券	HOST HOTELS & RESORTS INC	234,500	2,537.66	595,081,832	2,417.60	566,929,334	0.96
26	アメリカ	投資証券	CAMDEN PROPERTY TRUST	34,820	17,364.25	604,623,265	15,627.69	544,156,396	0.92
27	アメリカ	投資証券	UDR INC	100,000	5,847.66	584,766,540	5,396.23	539,623,920	0.92
28	イギリス	投資証券	SEGRO PLC	395,200	1,627.21	643,075,091	1,354.02	535,109,858	0.91
29	アメリカ	投資証券	EQUITY LIFESTYLE PROPERTIES	57,370	9,222.75	529,109,608	8,826.29	506,364,573	0.86
30	アメリカ	投資証券	REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	60,200	8,007.54	482,054,292	8,124.36	489,086,887	0.83

種類別及び業種別投資比率

種類	投資比率(%)
投資証券	99.29
合 計	99.29

②投資不動産物件

野村世界６資産分散投信（DC）安定コース

該当事項はありません。

野村世界６資産分散投信（DC）インカムコース

該当事項はありません。

野村世界６資産分散投信（DC）成長コース

該当事項はありません。

（参考）国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）外国債券マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）国内株式マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド

該当事項はありません。

（参考）J－REITインデックス マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）海外REITインデックス マザーファンド

該当事項はありません。

③その他投資資産の主要なもの

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

該当事項はありません。

野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース

該当事項はありません。

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

該当事項はありません。

（参考）国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）外国債券マザーファンド

該当事項はありません。

（参考）国内株式マザーファンド

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。
評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

種類	取引所	名称	買建／ 売建	枚数	通貨	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
株価指数先物 取引	大阪取引所	TOPIX先物(2023年03月限)	買建	249	日本円	4,777,061,456	4,918,995,000	1.02

（参考）外国株式MSC I－KOKUSA I マザーファンド

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

種類	国／地 域	取引所	名称	買建／ 売建	枚数	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額	評価額 (円)	投資 比率 (%)
株価指 数先物 取引	アメリカ	シカゴ マーカン タイル取 引所	E-mini S&P500株 価指数先物(2023 年03月限)	買建	702	米ドル	138,438,262.5	18,062,040,106	141,540,750	18,466,821,636	1.30
	カナダ	モントリ オール取 引所	S&P TSX60株価指 数先物(2023年03 月限)	買建	39	カナダド ル	9,433,900	919,144,877	9,689,160	944,014,855	0.06
	ドイツ	ユーレック ス・ドイツ 金融先物取 引所	ユーロ50株価指数 先物(2023年03月 限)	買建	445	ユーロ	17,863,220	2,528,717,424	18,538,700	2,624,338,368	0.18
	オース トラリ ア	シドニー先 物取引所	SPI200株価指数先 物(2023年03月限)	買建	38	豪ドル	6,841,750	628,962,077	7,055,650	648,625,898	0.04
	イギリ ス	ロンドン国 際金融先物 オプション 取引所	FT100株価指数先 物(2023年03月限)	買建	96	英ポンド	7,346,310	1,184,739,412	7,452,960	1,201,938,849	0.08
	スイス	ユーレック ス・チュー リッヒ取 引所	SMI株価指数先物 (2023年03月限)	買建	50	スイスフ ラン	5,516,810	778,201,221	5,648,500	796,777,404	0.05

（参考）J－REITインデックス マザーファンド

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

種類	取引所	名称	買建／ 売建	枚数	通貨	帳簿価額 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
REIT指数先物 取引	大阪取引所	REIT指数先物(2023年03月限)	買建	708	日本円	1,351,746,600	1,284,666,000	2.88

（参考）海外REITインデックス マザーファンド

その他の資産として、下記の通り先物取引を利用しています。

評価にあたっては知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。

種類	国／地 域	取引所	名称	買建／ 売建	枚数	通貨	帳簿価額	帳簿価額 (円)	評価額	評価額 (円)	投資 比率 (%)
----	----------	-----	----	-----------	----	----	------	-------------	-----	------------	-----------------

株価指数先物取引	アメリカ	シカゴボード オブトレード	ダウ・ジョーンズ米国不動産指数先物(2023年03月限)	買建	80	米ドル	2,765,040	360,754,766	2,829,600	369,177,905	0.63
----------	------	---------------	------------------------------	----	----	-----	-----------	-------------	-----------	-------------	------

（３）運用実績

①純資産の推移

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）安定コース

2023年1月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間	(2018年 7月10日)	23	23	1.0309	1.0314
第2計算期間	(2019年 7月10日)	112	112	1.0629	1.0634
第3計算期間	(2020年 7月10日)	235	235	1.0493	1.0498
第4計算期間	(2021年 7月12日)	392	393	1.1675	1.1680
第5計算期間	(2022年 7月11日)	531	531	1.1612	1.1617
2022年 1月末日		478	—	1.1639	—
2月末日		482	—	1.1548	—
3月末日		510	—	1.1884	—
4月末日		514	—	1.1778	—
5月末日		522	—	1.1721	—
6月末日		529	—	1.1603	—
7月末日		547	—	1.1788	—
8月末日		564	—	1.1768	—
9月末日		566	—	1.1470	—
10月末日		599	—	1.1747	—
11月末日		607	—	1.1626	—
12月末日		588	—	1.1285	—
2023年 1月末日		614	—	1.1385	—

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）インカムコース

2023年1月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間	(2018年 7月10日)	17	17	1.0263	1.0268
第2計算期間	(2019年 7月10日)	69	69	1.0570	1.0575
第3計算期間	(2020年 7月10日)	115	115	1.0718	1.0723
第4計算期間	(2021年 7月12日)	177	177	1.2120	1.2125
第5計算期間	(2022年 7月11日)	245	245	1.2305	1.2310

2022年 1月末日	216	—	1.2104	—
2月末日	217	—	1.1945	—
3月末日	229	—	1.2463	—
4月末日	236	—	1.2375	—
5月末日	239	—	1.2291	—
6月末日	244	—	1.2327	—
7月末日	255	—	1.2524	—
8月末日	261	—	1.2455	—
9月末日	263	—	1.2149	—
10月末日	282	—	1.2591	—
11月末日	280	—	1.2333	—
12月末日	276	—	1.1796	—
2023年 1月末日	288	—	1.1972	—

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

2023年1月末日及び同日前1年以内における各月末並びに下記決算期末の純資産の推移は次の通りです。

		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第1計算期間	(2018年 7月10日)	26	26	1.0767	1.0772
第2計算期間	(2019年 7月10日)	108	108	1.0842	1.0847
第3計算期間	(2020年 7月10日)	213	213	1.0818	1.0823
第4計算期間	(2021年 7月12日)	415	415	1.3981	1.3986
第5計算期間	(2022年 7月11日)	572	573	1.4362	1.4367
	2022年 1月末日	502	—	1.4043	—
	2月末日	510	—	1.3931	—
	3月末日	552	—	1.4830	—
	4月末日	549	—	1.4482	—
	5月末日	556	—	1.4446	—
	6月末日	567	—	1.4210	—
	7月末日	597	—	1.4661	—
	8月末日	616	—	1.4725	—
	9月末日	600	—	1.4044	—
	10月末日	655	—	1.4872	—
	11月末日	666	—	1.4798	—
	12月末日	642	—	1.4075	—
	2023年 1月末日	688	—	1.4513	—

②分配の推移

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	0.0005円
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	0.0005円
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	0.0005円
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	0.0005円
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	0.0005円

野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	0.0005円
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	0.0005円
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	0.0005円
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	0.0005円
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	0.0005円

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

	計算期間	1口当たりの分配金
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	0.0005円
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	0.0005円
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	0.0005円
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	0.0005円
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	0.0005円

③収益率の推移

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

	計算期間	収益率
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	3.1%
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	3.2%
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	△1.2%
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	11.3%
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	△0.5%
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	△2.5%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）インカムコース

	計算期間	収益率
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	2.7%
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	3.0%
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	1.4%
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	13.1%
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	1.6%
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	△3.1%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）成長コース

	計算期間	収益率
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	7.7%
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	0.7%
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	△0.2%
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	29.3%
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	2.8%
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	△1.0%

※各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配付の額）から当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落の額。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じて得た数を記載しております。なお、小数点以下2桁目を四捨五入し、小数点以下1桁目まで表示しております。

（４）設定及び解約の実績

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）安定コース

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	28,384,000	5,501,409	22,882,591
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	88,165,880	5,093,407	105,955,064
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	129,676,726	11,076,178	224,555,612
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	133,755,665	21,768,809	336,542,468
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	137,191,480	15,807,698	457,926,250
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	90,302,640	23,327,571	524,901,319

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村世界６資産分散投信（ＤＣ）インカムコース

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	21,961,287	4,875,276	17,086,011
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	49,404,024	1,024,664	65,465,371
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	54,889,111	12,688,504	107,665,978
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	52,913,776	14,042,299	146,537,455
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	64,946,230	12,223,261	199,260,424
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	40,844,925	5,422,596	234,682,753

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

	計算期間	設定口数	解約口数	発行済み口数
第1計算期間	2017年 8月31日～2018年 7月10日	28,381,143	3,479,510	24,901,633
第2計算期間	2018年 7月11日～2019年 7月10日	82,522,313	6,990,670	100,433,276
第3計算期間	2019年 7月11日～2020年 7月10日	111,721,274	14,993,399	197,161,151
第4計算期間	2020年 7月11日～2021年 7月12日	117,953,434	18,123,473	296,991,112
第5計算期間	2021年 7月13日～2022年 7月11日	135,976,927	34,025,117	398,942,922
第6期（中間期）	2022年 7月12日～2023年 1月11日	73,492,890	13,736,506	458,699,306

※本邦外における設定及び解約の実績はありません。

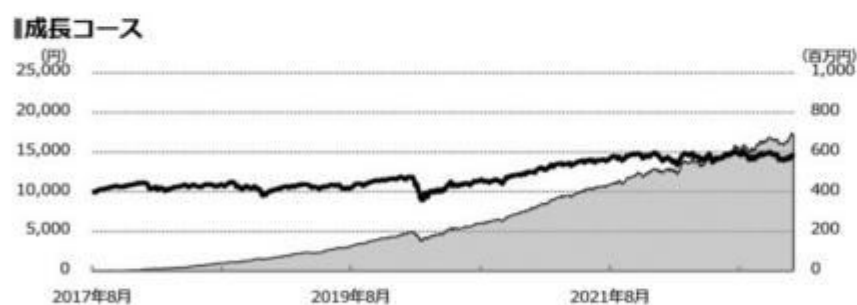
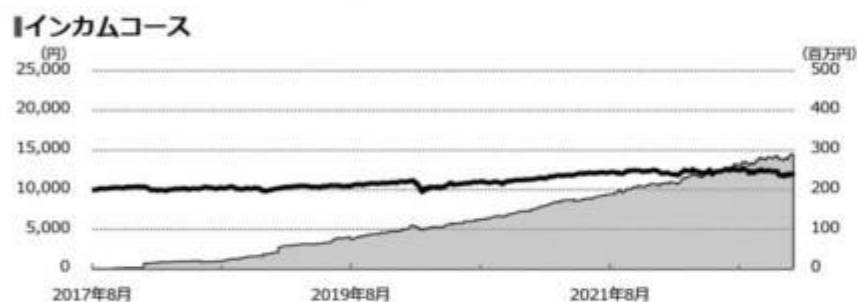
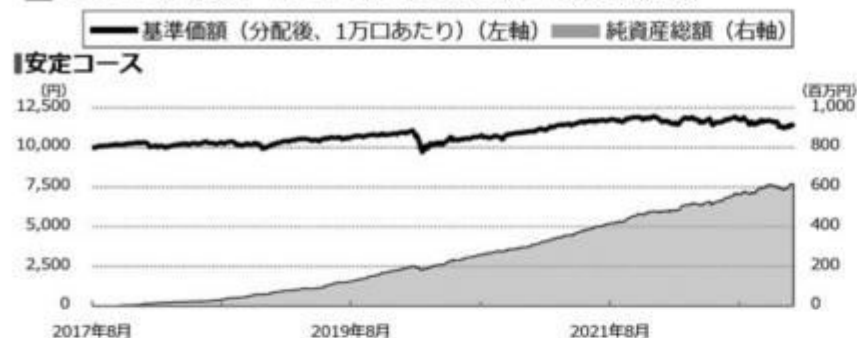
《参考情報》

<更新後>



運用実績（2023年1月31日現在）

■ 基準価額・純資産の推移（日次：設定来）



■ 分配の推移

（1万口あたり、課税前）

■ 安定コース

2022年7月	5 円
2021年7月	5 円
2020年7月	5 円
2019年7月	5 円
2018年7月	5 円
設定来累計	25 円

■ インカムコース

2022年7月	5 円
2021年7月	5 円
2020年7月	5 円
2019年7月	5 円
2018年7月	5 円
設定来累計	25 円

■ 成長コース

2022年7月	5 円
2021年7月	5 円
2020年7月	5 円
2019年7月	5 円
2018年7月	5 円
設定来累計	25 円

■ 主要な資産の状況

各マザーファンドへの投資比率

	投資比率（％）		
	安定コース	インカムコース	成長コース
国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド	59.3	19.6	9.7
外国債券マザーファンド	10.0	49.8	9.8
国内株式マザーファンド	5.2	5.1	35.4
外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド	15.4	15.3	35.2
J－REITインデックス マザーファンド	4.8	4.8	4.7
海外REITインデックス マザーファンド	5.3	5.3	5.2

実質的な銘柄別投資比率（上位）

・「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」を通じての投資銘柄

順位	銘柄	種類	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	国庫債券 利付（10年）第347回	国債証券	0.8	0.3	0.1
2	国庫債券 利付（10年）第365回	国債証券	0.8	0.3	0.1
3	国庫債券 利付（5年）第153回	国債証券	0.8	0.3	0.1
4	国庫債券 利付（10年）第363回	国債証券	0.8	0.3	0.1
5	国庫債券 利付（10年）第364回	国債証券	0.7	0.2	0.1

・「外国債券マザーファンド」を通じての投資銘柄

順位	銘柄	種類	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	US TREASURY N/B	国債証券	0.3	1.7	0.3
2	US TREASURY BOND	国債証券	0.3	1.5	0.3
3	US TREASURY BOND	国債証券	0.3	1.4	0.3
4	US TREASURY N/B	国債証券	0.2	0.9	0.2
5	US TREASURY N/B	国債証券	0.2	0.8	0.2

・「国内株式マザーファンド」を通じての投資銘柄

順位	銘柄	業種	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	トヨタ自動車	輸送用機器	0.2	0.2	1.3
2	ソニーグループ	電気機器	0.1	0.1	1.0
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	0.1	0.1	0.7
4	キーエンス	電気機器	0.1	0.1	0.7
5	日本電信電話	情報・通信業	0.1	0.1	0.6

・「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」を通じての投資銘柄

順位	銘柄	業種	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	APPLE INC	コンピュータ・周辺機器	0.7	0.7	1.6
2	MICROSOFT CORP	ソフトウェア	0.5	0.5	1.2
3	AMAZON.COM INC	インターネット販売・通信販売	0.3	0.3	0.6
4	ALPHABET INC-CL A	インタラクティブ・メディアおよびサービス	0.2	0.2	0.4
5	ALPHABET INC-CL C	インタラクティブ・メディアおよびサービス	0.2	0.2	0.4

・「J-REITインデックス マザーファンド」を通じての投資銘柄

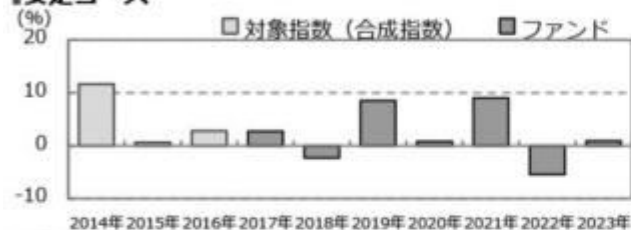
順位	銘柄	種類	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	日本ビルファンド投資法人 投資証券	投資証券	0.3	0.3	0.3
2	ジャパンリアルエステイト投資法人 投資証券	投資証券	0.3	0.3	0.2
3	日本都市ファンド投資法人 投資証券	投資証券	0.2	0.2	0.2
4	日本プロロジスリート投資法人 投資証券	投資証券	0.2	0.2	0.2
5	野村不動産マスターファンド投資法人 投資証券	投資証券	0.2	0.2	0.2

・「海外REITインデックス マザーファンド」を通じての投資銘柄

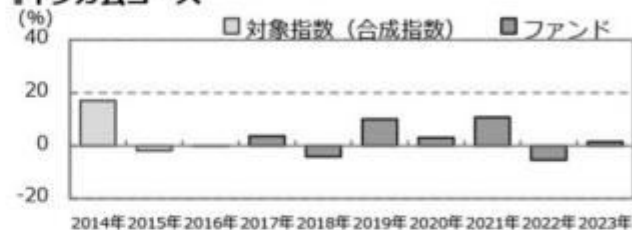
順位	銘柄	種類	投資比率（％）		
			安定 コース	インカム コース	成長 コース
1	PROLOGIS INC	投資証券	0.5	0.5	0.4
2	EQUINIX INC	投資証券	0.3	0.3	0.3
3	PUBLIC STORAGE	投資証券	0.2	0.2	0.2
4	REALTY INCOME CORP	投資証券	0.2	0.2	0.2
5	SIMON PROPERTY GROUP INC	投資証券	0.2	0.2	0.2

■ 年間収益率の推移（暦年ベース）

Ⅰ安定コース



Ⅱインカムコース



Ⅲ成長コース



- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・2014年から2016年は対象指数（合成指数）の年間収益率。（出所：MSCI他）
- ・2017年は設定日（2017年8月31日）から年末までの収益率。
- ・2023年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●対象指数（合成指数）の情報はあくまで参考情報であり、ファンドの運用実績ではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

第3【ファンドの経理状況】

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

(1)当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）（以下「中間財務諸表等規則」という。）ならびに同規則第38条の3および第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）（以下「投資信託財産計算規則」という。）に基づいて作成しております。なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。

(2)当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第6期中間計算期間(2022年7月12日から2023年1月11日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

(1) 中間貸借対照表

(単位：円)		
	第5期 (2022年 7月11日現在)	第6期中間計算期間末 (2023年 1月11日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,252,204	181,047
親投資信託受益証券	531,572,841	594,265,582
流動資産合計	532,825,045	594,446,629
資産合計	532,825,045	594,446,629
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	228,963	-
未払受託者報酬	82,221	535
未払委託者報酬	767,337	4,995
その他未払費用	5,415	35
流動負債合計	1,083,936	5,565
負債合計	1,083,936	5,565
純資産の部		
元本等		
元本	457,926,250	524,901,319
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	73,814,859	69,539,745
（分配準備積立金）	35,965,204	34,328,729
元本等合計	531,741,109	594,441,064
純資産合計	531,741,109	594,441,064
負債純資産合計	532,825,045	594,446,629

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位：円)		
	第5期中間計算期間 自 2021年 7月13日 至 2022年 1月12日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
営業収益		
有価証券売買等損益	8,046,948	△14,499,569
営業収益合計	8,046,948	△14,499,569

	第5期中間計算期間 自 2021年 7月13日 至 2022年 1月12日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
営業費用		
支払利息	11	95
受託者報酬	72,569	96,147
委託者報酬	677,250	897,324
その他費用	4,772	6,348
営業費用合計	754,602	999,914
営業利益又は営業損失（△）	7,292,346	△15,499,483
経常利益又は経常損失（△）	7,292,346	△15,499,483
中間純利益又は中間純損失（△）	7,292,346	△15,499,483
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	69,750	△161,411
期首剰余金又は期首欠損金（△）	56,365,114	73,814,859
剰余金増加額又は欠損金減少額	12,572,792	14,839,980
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	12,572,792	14,839,980
剰余金減少額又は欠損金増加額	980,314	3,777,022
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	980,314	3,777,022
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	75,180,188	69,539,745

（3）中間注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2. 費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4. その他	当ファンドの中間計算期間は、2022年 7月12日から2023年 1月11日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 457,926,250口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 524,901,319口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1612円 (10,000口当たり純資産額) (11,612円)	2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1325円 (10,000口当たり純資産額) (11,325円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。 2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

1 元本の移動

第5期 自 2021年 7月13日 至 2022年 7月11日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
期首元本額 336,542,468円	期首元本額 457,926,250円
期中追加設定元本額 137,191,480円	期中追加設定元本額 90,302,640円
期中一部解約元本額 15,807,698円	期中一部解約元本額 23,327,571円

2 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース

（1）中間貸借対照表

（単位：円）

	第5期 (2022年 7月11日現在)	第6期中間計算期間末 (2023年 1月11日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	614,184	131,460
親投資信託受益証券	245,104,686	279,722,122
流動資産合計	245,718,870	279,853,582
資産合計	245,718,870	279,853,582
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	99,630	-
未払解約金	-	47,165

	第5期 (2022年 7月11日現在)	第6期中間計算期間末 (2023年 1月11日現在)
未払受託者報酬	37,438	252
未払委託者報酬	399,251	2,688
その他未払費用	2,439	16
流動負債合計	538,758	50,121
負債合計	538,758	50,121
純資産の部		
元本等		
元本	199,260,424	234,682,753
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	45,919,688	45,120,708
（分配準備積立金）	22,982,565	22,404,715
元本等合計	245,180,112	279,803,461
純資産合計	245,180,112	279,803,461
負債純資産合計	245,718,870	279,853,582

(2) 中間損益及び剰余金計算書

(単位：円)

	第5期中間計算期間 自 2021年 7月13日 至 2022年 1月12日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
営業収益		
有価証券売買等損益	4,539,967	△8,672,382
営業収益合計	4,539,967	△8,672,382
営業費用		
支払利息	1	19
受託者報酬	32,913	44,839
委託者報酬	351,034	478,266
その他費用	2,134	2,922
営業費用合計	386,082	526,046
営業利益又は営業損失（△）	4,153,885	△9,198,428
経常利益又は経常損失（△）	4,153,885	△9,198,428
中間純利益又は中間純損失（△）	4,153,885	△9,198,428
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	△23,794	59,277
期首剰余金又は期首欠損金（△）	31,070,774	45,919,688
剰余金増加額又は欠損金減少額	7,106,850	9,713,154
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	7,106,850	9,713,154
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,297,500	1,254,429
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,297,500	1,254,429
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	41,057,803	45,120,708

(3) 中間注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

4.その他	当ファンドの中間計算期間は、2022年 7月12日から2023年 1月11日までとなっております。
-------	---

（中間貸借対照表に関する注記）

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 199,260,424口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 234,682,753口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.2305円 (10,000口当たり純資産額) (12,305円)	2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.1923円 (10,000口当たり純資産額) (11,923円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

1 元本の移動

第5期 自 2021年 7月13日 至 2022年 7月11日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
期首元本額 146,537,455円	期首元本額 199,260,424円
期中追加設定元本額 64,946,230円	期中追加設定元本額 40,844,925円
期中一部解約元本額 12,223,261円	期中一部解約元本額 5,422,596円

2 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

（１）中間貸借対照表

(単位：円)		
	第5期 (2022年 7月11日現在)	第6期中間計算期間末 (2023年 1月11日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,717,291	215,524
親投資信託受益証券	572,759,477	652,305,116
未収入金	25,580	-
流動資産合計	574,502,348	652,520,640
資産合計	574,502,348	652,520,640
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	199,471	-
未払解約金	206,962	17,423
未払受託者報酬	87,370	585
未払委託者報酬	1,048,383	7,024
その他未払費用	8,679	58
流動負債合計	1,550,865	25,090
負債合計	1,550,865	25,090
純資産の部		
元本等		
元本	398,942,922	458,699,306
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（△）	174,008,561	193,796,244
（分配準備積立金）	80,064,558	77,573,402
元本等合計	572,951,483	652,495,550
純資産合計	572,951,483	652,495,550
負債純資産合計	574,502,348	652,520,640

（２）中間損益及び剰余金計算書

(単位：円)		
	第5期中間計算期間 自 2021年 7月13日 至 2022年 1月12日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
営業収益		
有価証券売買等損益	25,189,640	△6,264,681
営業収益合計	25,189,640	△6,264,681
営業費用		
支払利息	18	144
受託者報酬	76,515	104,673
委託者報酬	918,073	1,256,019
その他費用	7,585	10,408
営業費用合計	1,002,191	1,371,244
営業利益又は営業損失（△）	24,187,449	△7,635,925
経常利益又は経常損失（△）	24,187,449	△7,635,925
中間純利益又は中間純損失（△）	24,187,449	△7,635,925
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（△）	556,938	274,617

	第5期中間計算期間 自 2021年 7月13日 至 2022年 1月12日	第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日
期首剰余金又は期首欠損金（△）	118,243,956	174,008,561
剰余金増加額又は欠損金減少額	31,681,137	33,721,548
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	31,681,137	33,721,548
剰余金減少額又は欠損金増加額	8,319,454	6,023,323
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	8,319,454	6,023,323
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（△）	165,236,150	193,796,244

（３）中間注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.運用資産の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 基準価額で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補 足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前 提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。
4.その他	当ファンドの中間計算期間は、2022年 7月12日から2023年 1月11日までとなっております。

（中間貸借対照表に関する注記）

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 398,942,922口	1. 中間計算期間の末日における受益権の総数 458,699,306口
2. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4362円 (10,000口当たり純資産額) (14,362円)	2. 中間計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額 1口当たり純資産額 1.4225円 (10,000口当たり純資産額) (14,225円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

第5期 2022年 7月11日現在	第6期中間計算期間末 2023年 1月11日現在
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額 貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額 中間貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	2. 時価の算定方法 親投資信託受益証券 （重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。
--	--

（その他の注記）

1 元本の移動

第5期 自 2021年 7月13日 至 2022年 7月11日		第6期中間計算期間 自 2022年 7月12日 至 2023年 1月11日	
期首元本額	296,991,112円	期首元本額	398,942,922円
期中追加設定元本額	135,976,927円	期中追加設定元本額	73,492,890円
期中一部解約元本額	34,025,117円	期中一部解約元本額	13,736,506円

2 デリバティブ取引関係

該当事項はありません。

（参考）

「野村世界6資産分散投信（DC）」の各ファンドは「国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド」、「外国債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「外国株式MSCI－KOKUSA Iマザーファンド」、「J－REITインデックス マザーファンド」および「海外REITインデックス マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された親投資信託受益証券は、すべて同親投資信託の受益証券です。
なお、以下に記載した状況は監査の対象外となっております。

国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
(2023年 1月11日現在)	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	5,303,685,364
国債証券	696,908,148,250
地方債証券	55,697,549,949
特殊債券	62,318,125,687
社債券	39,924,463,050
未収利息	1,337,322,905
前払費用	19,255,552
流動資産合計	861,508,550,757
資産合計	861,508,550,757
負債の部	
流動負債	

(2023年 1月11日現在)	
未払解約金	707,063,017
未払利息	5,514
流動負債合計	707,068,531
負債合計	707,068,531
純資産の部	
元本等	
元本	685,245,565,382
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	175,555,916,844
元本等合計	860,801,482,226
純資産合計	860,801,482,226
負債純資産合計	861,508,550,757

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	1.2562円
(10,000口当たり純資産額)	(12,562円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券 (重要な会計方針に係る事項に関する注記)に記載しております。 コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務 これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在		
期首		2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額		662,667,508,525円
同期中における追加設定元本額		64,279,786,806円
同期中における一部解約元本額		41,701,729,949円
期末元本額		685,245,565,382円
期末元本額の内訳＊		
野村国内債券インデックスファンド		395,543,557円
野村世界６資産分散投信（安定コース）		42,185,145,584円
野村世界６資産分散投信（分配コース）		18,065,900,809円
野村世界６資産分散投信（成長コース）		4,228,559,230円
野村資産設計ファンド２０１５		335,104,874円
野村資産設計ファンド２０２０		361,029,791円
野村資産設計ファンド２０２５		387,855,197円
野村資産設計ファンド２０３０		335,046,618円
野村資産設計ファンド２０３５		198,429,274円
野村資産設計ファンド２０４０		237,360,506円
野村日本債券インデックスファンド		700,318,553円
野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）		157,300,434,844円
のむラップ・ファンド（保守型）		19,103,176,649円
のむラップ・ファンド（普通型）		33,963,856,751円
のむラップ・ファンド（積極型）		3,968,531,712円
野村日本債券インデックス（野村SMA向け）		9,692,415,422円
野村資産設計ファンド２０４５		34,578,610円
野村円債投資インデックスファンド		657,163,722円
野村インデックスファンド・国内債券		1,796,131,083円
マイ・ロード		37,393,989,359円
野村インデックスファンド・内外７資産バランス・為替ヘッジ型		1,603,999,410円
野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）		18,973,196,122円
野村世界６資産分散投信（配分変更コース）		2,125,877,810円
野村資産設計ファンド２０５０		28,015,196円
野村ターゲットデートファンド２０１６ ２０２６－２０２８年目標型		34,169,150円
野村ターゲットデートファンド２０１６ ２０２９－２０３１年目標型		10,668,772円
野村ターゲットデートファンド２０１６ ２０３２－２０３４年目標型		4,954,998円
野村ターゲットデートファンド２０１６ ２０３５－２０３７年目標型		3,417,183円
のむラップ・ファンド（やや保守型）		1,901,262,302円
のむラップ・ファンド（やや積極型）		824,596,872円
インデックス・ブレンド（タイプⅠ）		38,385,569円
インデックス・ブレンド（タイプⅡ）		12,636,747円
インデックス・ブレンド（タイプⅢ）		44,865,461円

2023年 1月11日現在	
インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	7,231,312円
インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	7,204,340円
野村6資産均等バランス	5,825,793,591円
世界6資産分散ファンド	141,336,880円
野村資産設計ファンド2060	14,703,914円
NEXT FUNDS 国内債券・NOMURA－BPI総合連動型上場投信	44,524,781,391円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）債券・安定型	31,500,259,165円
グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	475,452,669円
グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	84,351,009円
グローバル・インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	1,400,545,984円
グローバル・インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	471,061,570円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）	9,529,167円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用）	10,523,139円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）	135,710円
野村インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	3,093,825,810円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA（適格機関投資家専用）	3,787,072円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	32,575,619円
野村世界インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	37,993,021円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	369,670,175円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	277,384,293円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA（適格機関投資家専用）	896,450,054円
野村世界バランス25VA（適格機関投資家専用）	120,663,576円
ノムラ日本債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	1,515,839,826円
ノムラFOFs用インデックスファンド・国内債券（適格機関投資家専用）	381,569,779円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2％コース向け）（適格機関投資家専用）	15,146,698円
マイバランス30（確定拠出年金向け）	39,658,304,956円
マイバランス50（確定拠出年金向け）	55,181,086,077円
マイバランス70（確定拠出年金向け）	21,681,918,996円
野村国内債券インデックスファンド・NOMURA－BPI総合（確定拠出年金向け）	51,857,589,946円
マイバランスDC30	16,588,438,582円
マイバランスDC50	13,898,472,420円
マイバランスDC70	5,146,982,212円
野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA－BPI総合	13,624,262,914円
マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	1,887,632,214円
マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	5,812,936,925円
マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	2,472,868,851円
野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	282,176,771円
野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	43,953,842円
野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	51,256,360円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	135,444,400円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	54,271,178円

2023年 1月11日現在	
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	19,126,554円
マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	2,081,006,912円
マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	937,742,550円
マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	380,271,004円
マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	453,711,421円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	9,500,920円
マイターゲット2065（確定拠出年金向け）	156,867,606円
多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	633,483,412円
みらいバランス・株式10（富士通企業年金基金DC向け）	3,958,836,884円
野村DCバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	72,987,974円

※は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

外国債券マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

（2023年 1月11日現在）	
資産の部	
流動資産	
預金	431,316,991
コール・ローン	174,676,946
国債証券	664,720,269,234
派生商品評価勘定	15,053,918
未収入金	2,443,679,642
未収利息	6,869,378,540
前払費用	641,573,607
その他未収収益	32,433,420
流動資産合計	675,328,382,298
資産合計	675,328,382,298
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	7,728,152
未払金	581,388,980
未払解約金	2,325,433,289
未払利息	181
その他未払費用	13,042,822
流動負債合計	2,927,593,424
負債合計	2,927,593,424
純資産の部	
元本等	
元本	269,260,016,556
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	403,140,772,318
元本等合計	672,400,788,874
純資産合計	672,400,788,874
負債純資産合計	675,328,382,298

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.運用資産の評価基準及び評価方法	国債証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、価格情報会社の提供する価額等で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3.費用・収益の計上基準	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
4.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（貸借対照表に関する注記）

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.4972円
(10,000口当たり純資産額)	(24,972円)
2. 有価証券の消費貸借契約により貸し付けた有価証券	
	233,300,016,427円
なお、上記の金額は利含み価格で表示しております。	
3. 自由処分権を有する担保受入金融資産の時価	
貸付有価証券の担保として受け入れている資産は次の通りであります。	
有価証券	246,371,746,329円
なお、上記の金額は利含み価格で表示しております。	

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	
2. 時価の算定方法	

国債証券

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

派生商品評価勘定

為替予約取引

１）計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

①計算日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

②計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

２）計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務

これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在	
期首	2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	254,734,918,365円
同期中における追加設定元本額	29,876,301,160円
同期中における一部解約元本額	15,351,202,969円
期末元本額	269,260,016,556円
期末元本額の内訳＊	
バランスセレクト３０	79,148,381円
バランスセレクト５０	80,438,549円
バランスセレクト７０	79,802,104円
野村外国債券インデックスファンド	262,158,715円
野村世界６資産分散投信（安定コース）	3,601,551,895円
野村世界６資産分散投信（分配コース）	23,135,611,599円
野村世界６資産分散投信（成長コース）	2,166,073,030円
野村資産設計ファンド２０１５	21,990,228円
野村資産設計ファンド２０２０	23,733,519円
野村資産設計ファンド２０２５	38,961,319円
野村資産設計ファンド２０３０	50,608,045円
野村資産設計ファンド２０３５	40,307,480円
野村資産設計ファンド２０４０	63,547,845円
野村外国債券インデックス Ｂコース（野村投資一任口座向け）	74,564,604,773円
のむラップ・ファンド（保守型）	6,672,905,862円
のむラップ・ファンド（普通型）	26,687,918,700円
のむラップ・ファンド（積極型）	7,586,801,657円
野村外国債券インデックス（野村SMA向け）	512,748,612円
野村資産設計ファンド２０４５	11,982,194円
野村インデックスファンド・外国債券	1,007,523,922円

マイ・ロード	8,143,582,046円
ネクストコア	93,130,372円
野村インデックスファンド・海外5資産バランス	337,293,064円
野村外国債券インデックスBコース（野村SMA・EW向け）	7,773,276,296円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	1,374,056,649円
野村資産設計ファンド2050	10,949,080円
野村ターゲットデートファンド2016 2026-2028年目標型	4,492,468円
野村ターゲットデートファンド2016 2029-2031年目標型	2,938,765円
野村ターゲットデートファンド2016 2032-2034年目標型	1,859,186円
野村ターゲットデートファンド2016 2035-2037年目標型	1,525,013円
のむラップ・ファンド（やや保守型）	955,832,673円
のむラップ・ファンド（やや積極型）	1,247,495,278円
インデックス・ブレンド（タイプI）	3,972,449円
インデックス・ブレンド（タイプII）	2,860,172円
インデックス・ブレンド（タイプIII）	9,325,983円
インデックス・ブレンド（タイプIV）	1,830,152円
インデックス・ブレンド（タイプV）	9,208,254円
野村6資産均等バランス	2,984,548,111円
野村外国債券（含む新興国）インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	6,772,760,581円
世界6資産分散ファンド	72,399,518円
野村資産設計ファンド2060	5,799,680円
NEXT FUNDS 外国債券・FTSE世界国債インデックス（除く日本・為替ヘッジなし）連動型上場投信	10,262,761,309円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）外国債券	8,961,366,341円
野村外国債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	6,179,001円
グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	972,673,465円
グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	172,619,153円
グローバル・インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	1,004,399,683円
グローバル・インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	402,168,088円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）	1,328,516円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用）	8,085,898円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）	69,508円
野村インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	2,637,168,362円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA（適格機関投資家専用）	4,367,727円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	24,975,667円
野村世界インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	7,283,077円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	165,349,085円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	141,853,743円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA（適格機関投資家専用）	1,836,829,228円
野村世界バランス25VA（適格機関投資家専用）	61,887,611円
ノムラ外国債券インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	806,484,058円
ノムラFOFs用インデックスファンド・外国債券（適格機関投資家専用）	1,941,041,961円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2%コース向け）（適格機関投資家専用）	5,820,793円
バランスセレクト30（確定拠出年金向け）	3,599,907円
バランスセレクト50（確定拠出年金向け）	7,699,833円
バランスセレクト70（確定拠出年金向け）	6,115,282円
野村外国債券パッシブファンド（確定拠出年金向け）	611,603,107円

マイバランス３０（確定拠出年金向け）	5,489,642,535円
マイバランス５０（確定拠出年金向け）	7,029,114,939円
マイバランス７０（確定拠出年金向け）	5,548,749,826円
野村外国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	23,389,304,793円
マイバランスDC３０	2,285,206,061円
マイバランスDC５０	1,759,850,205円
マイバランスDC７０	1,293,659,709円
野村DC外国債券インデックスファンド	9,423,761,943円
野村DC運用戦略ファンド	3,379,441,802円
野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	433,894,464円
マイターゲット２０５０（確定拠出年金向け）	360,349,456円
マイターゲット２０３０（確定拠出年金向け）	793,646,779円
マイターゲット２０４０（確定拠出年金向け）	344,490,629円
野村世界６資産分散投信（DC）安定コース	24,090,741円
野村世界６資産分散投信（DC）インカムコース	56,288,290円
野村世界６資産分散投信（DC）成長コース	26,255,998円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）２０３０	20,458,547円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）２０４０	14,533,618円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）２０５０	7,475,164円
マイターゲット２０３５（確定拠出年金向け）	272,941,644円
マイターゲット２０４５（確定拠出年金向け）	151,281,270円
マイターゲット２０５５（確定拠出年金向け）	88,463,480円
マイターゲット２０６０（確定拠出年金向け）	116,206,436円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）２０６０	3,747,462円
マイターゲット２０６５（確定拠出年金向け）	40,177,686円
多資産分散投資ファンド（バランス１０）（確定拠出年金向け）	64,900,317円
みらいバランス・株式１０（富士通企業年金基金DC向け）	253,410,771円
野村DCバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	37,387,369円

※は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

国内株式マザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

（2023年 1月11日現在）

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	17,434,377,677
株式	455,524,876,070
派生商品評価勘定	15,003,865
未収配当金	769,960,180
未収利息	159,861
その他未収収益	20,090,797
差入委託証拠金	489,770,801
流動資産合計	474,254,239,251
資産合計	474,254,239,251
負債の部	
流動負債	

派生商品評価勘定	163,896,381
未払解約金	43,582,009
未払利息	18,126
有価証券貸借取引受入金	11,725,377,640
流動負債合計	11,932,874,156
負債合計	11,932,874,156
純資産の部	
元本等	
元本	223,834,277,095
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	238,487,088,000
元本等合計	462,321,365,095
純資産合計	462,321,365,095
負債純資産合計	474,254,239,251

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1.運用資産の評価基準及び評価方法	株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	先物取引 取引所の発表する計算日の清算値段を用いております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（貸借対照表に関する注記）

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.0655円
(10,000口当たり純資産額)	(20,655円)
2. 有価証券の消費貸借契約により貸し付けた有価証券	
	11,292,573,600円

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在

1. 貸借対照表計上額、時価及び差額

貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法

株式

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

派生商品評価勘定

先物取引

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務

これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在

期首	2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	215,281,532,207円
同期中における追加設定元本額	20,507,437,750円
同期中における一部解約元本額	11,954,692,862円
期末元本額	223,834,277,095円
期末元本額の内訳※	
バランスセレクト30	128,958,714円
バランスセレクト50	294,088,325円
バランスセレクト70	441,201,608円
野村世界6資産分散投信（安定コース）	2,153,805,773円
野村世界6資産分散投信（分配コース）	2,767,119,030円
野村世界6資産分散投信（成長コース）	9,067,509,141円
野村資産設計ファンド2015	34,171,758円
野村資産設計ファンド2020	36,865,347円
野村資産設計ファンド2025	60,574,940円
野村資産設計ファンド2030	94,741,683円
野村資産設計ファンド2035	90,130,788円
野村資産設計ファンド2040	158,607,472円
野村日本株インデックス（野村投資一任口座向け）	13,179,889,504円
のむラップ・ファンド（保守型）	2,440,099,210円
のむラップ・ファンド（普通型）	16,156,500,729円
のむラップ・ファンド（積極型）	5,998,098,351円
野村資産設計ファンド2045	34,893,413円
野村インデックスファンド・TOPIX	2,337,886,851円
マイ・ロード	3,054,756,898円
ネクストコア	15,742,379円
野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	1,474,088,430円
野村TOPIXインデックス（野村SMA・EW向け）	2,729,790,174円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	1,049,310,340円

野村資産設計ファンド2050	40,049,569円
野村ターゲットデートファンド2016 2026-2028年目標型	10,467,245円
野村ターゲットデートファンド2016 2029-2031年目標型	6,567,293円
野村ターゲットデートファンド2016 2032-2034年目標型	5,182,112円
野村ターゲットデートファンド2016 2035-2037年目標型	4,647,187円
のむラップ・ファンド（やや保守型）	438,320,983円
のむラップ・ファンド（やや積極型）	885,581,556円
インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	4,354,984円
インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	3,910,014円
インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	23,595,138円
インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	8,566,055円
インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	33,453,599円
野村6資産均等バランス	3,569,315,978円
世界6資産分散ファンド	86,592,960円
野村資産設計ファンド2060	31,530,307円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）日本株式	2,714,275,884円
グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	242,469,649円
グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	129,092,510円
グローバル・インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	343,230,101円
グローバル・インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	192,404,154円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）	1,589,630円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用）	7,253,307円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）	207,851円
野村インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	1,893,295,221円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA（適格機関投資家専用）	2,900,775円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	29,885,255円
野村・国内株式インデックスファンド・VAS（適格機関投資家専用）	49,519,882円
野村世界インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	11,619,389円
野村グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	84,791,990円
野村グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	169,696,543円
野村グローバル・インデックス・バランス75VA（適格機関投資家専用）	3,844,622,319円
野村世界バランス25VA（適格機関投資家専用）	36,930,962円
ノムラ日本株式インデックスファンドVA（適格機関投資家専用）	182,665,762円
ノムラFOFs用インデックスファンド・TOPIX（適格機関投資家専用）	4,204,547,842円
野村国内外マルチアセット（6資産）ファンド（適格機関投資家専用）	40,456,415円
野村国内外マルチアセット（6資産）オープン投信（適格機関投資家専用）	81,086,012円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2%コース向け）（適格機関投資家専用）	2,320,361円
バランスセレクト30（確定拠出年金向け）	5,808,323円
バランスセレクト50（確定拠出年金向け）	28,706,156円
バランスセレクト70（確定拠出年金向け）	32,917,503円
国内債券・株式バランスファンド（確定拠出年金向け）	115,535,001円
マイバランス30（確定拠出年金向け）	8,915,983,756円
マイバランス50（確定拠出年金向け）	25,434,562,103円
マイバランス70（確定拠出年金向け）	30,158,456,349円
野村国内株式インデックスファンド・TOPIX（確定拠出年金向け）	37,393,459,175円
マイバランスDC30	3,713,975,886円
マイバランスDC50	6,446,135,624円

マイバランスDC70	7,123,579,466円
野村DC国内株式インデックスファンド・TOPIX	12,173,938,638円
野村DC運用戦略ファンド	578,935,703円
野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	46,750,416円
マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	1,772,132,911円
マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	1,677,221,213円
マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	1,437,798,055円
野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	14,406,785円
野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	6,732,324円
野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	109,911,569円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	38,299,781円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	36,273,310円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	27,342,669円
マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	899,257,580円
マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	688,314,091円
マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	467,031,594円
マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	625,445,632円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	20,373,295円
マイターゲット2065（確定拠出年金向け）	216,244,103円
多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	186,296,584円
みらいバランス・株式10（富士通企業年金基金DC向け）	181,906,912円
野村DCバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	44,716,936円

＊は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
(2023年 1月11日現在)	
資産の部	
流動資産	
預金	8,683,926,387
コール・ローン	1,548,263,600
株式	1,343,341,107,589
投資証券	31,624,714,376
派生商品評価勘定	328,668,496
未収配当金	1,193,718,869
差入委託証拠金	4,669,928,472
流動資産合計	1,391,390,327,789
資産合計	1,391,390,327,789
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	1,740,429
未払金	22,227,413
未払解約金	871,863,867
未払利息	1,609
その他未払費用	6,071,000
流動負債合計	901,904,318
負債合計	901,904,318
純資産の部	

(2023年 1月11日現在)

元本等	
元本	309,113,277,441
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	1,081,375,146,030
元本等合計	1,390,488,423,471
純資産合計	1,390,488,423,471
負債純資産合計	1,391,390,327,789

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	株式 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 投資証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 先物取引 計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2. 外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3. 費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
4. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	4.4983円
(10,000口当たり純資産額)	(44,983円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。	
2. 時価の算定方法	
株式	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
投資証券	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
派生商品評価勘定	
先物取引	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
派生商品評価勘定	
為替予約取引	
1）計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。	
①計算日において為替予約の受渡日（以下「当該日」といいます）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。	
②計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。	
・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。	
・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。	
2）計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。	

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在	
期首	2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	291,307,407,243円
同期中における追加設定元本額	29,195,313,537円
同期中における一部解約元本額	11,389,443,339円
期末元本額	309,113,277,441円
期末元本額の内訳＊	
バランスセレクト30	29,405,815円
バランスセレクト50	89,883,537円
バランスセレクト70	112,622,081円
野村外国株式インデックスファンド	490,338,286円
野村世界6資産分散投信（安定コース）	3,018,404,927円
野村世界6資産分散投信（分配コース）	3,877,919,654円
野村世界6資産分散投信（成長コース）	4,235,822,569円

野村資産設計ファンド2015	9,257,504円
野村資産設計ファンド2020	9,988,406円
野村資産設計ファンド2025	16,542,378円
野村資産設計ファンド2030	25,817,110円
野村資産設計ファンド2035	24,674,882円
野村資産設計ファンド2040	43,217,925円
野村外国株インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	45,595,350,659円
のむラップ・ファンド（保守型）	1,106,196,842円
のむラップ・ファンド（普通型）	12,110,284,250円
のむラップ・ファンド（積極型）	12,951,479,910円
野村資産設計ファンド2045	9,547,268円
野村インデックスファンド・外国株式	8,603,633,898円
マイ・ロード	1,285,080,880円
ネクストコア	8,700,624円
野村インデックスファンド・海外5資産バランス	188,418,110円
野村外国株インデックスBコース（野村SMA・EW向け）	2,523,768,500円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	266,250,555円
野村資産設計ファンド2050	10,928,359円
野村ターゲットデートファンド2016 2026-2028年目標型	2,868,623円
野村ターゲットデートファンド2016 2029-2031年目標型	1,800,389円
野村ターゲットデートファンド2016 2032-2034年目標型	1,409,114円
野村ターゲットデートファンド2016 2035-2037年目標型	1,266,976円
のむラップ・ファンド（やや保守型）	254,644,723円
のむラップ・ファンド（やや積極型）	1,136,930,909円
インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	1,863,418円
インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	2,412,399円
インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	24,149,394円
インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	7,742,238円
インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	33,514,565円
野村6資産均等バランス	1,667,378,744円
野村つみたて外国株投信	13,820,595,475円
野村外国株（含む新興国）インデックス Bコース（野村投資一任口座向け）	5,273,833,696円
世界6資産分散ファンド	40,451,295円
野村資産設計ファンド2060	8,584,996円
野村スリーゼロ先進国株式投信	1,458,374,609円
NEXT FUNDS 外国株式・MSCI-KOKUSAI指数（為替ヘッジなし）連動型上場投信	6,969,909,699円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）外国株式	6,003,336,249円
グローバル・インデックス・バランス25VA（適格機関投資家専用）	113,254,343円
グローバル・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	60,297,365円
グローバル・インデックス・バランス40VA（適格機関投資家専用）	488,121,941円
グローバル・インデックス・バランス60VA（適格機関投資家専用）	456,043,376円
ワールド・インデックス・ファンドVA安定型（適格機関投資家専用）	742,497円
ワールド・インデックス・ファンドVAバランス型（適格機関投資家専用）	4,141,287円
ワールド・インデックス・ファンドVA積極型（適格機関投資家専用）	213,639円
野村ワールド・インデックス・バランス35VA（適格機関投資家専用）	542,013円
野村ワールド・インデックス・バランス50VA（適格機関投資家専用）	9,305,942円
野村外国株式インデックスファンド（適格機関投資家専用）	330,484,240円

野村世界インデックス・バランス４０ＶＡ（適格機関投資家専用）	4,070,452円
野村グローバル・インデックス・バランス２５ＶＡ（適格機関投資家専用）	26,403,509円
野村グローバル・インデックス・バランス５０ＶＡ（適格機関投資家専用）	79,265,115円
野村グローバル・インデックス・バランス７５ＶＡ（適格機関投資家専用）	2,052,557,450円
野村世界バランス２５ＶＡ（適格機関投資家専用）	17,251,231円
ノムラＦＯＦｓ用インデックスファンド・外国株式（適格機関投資家専用）	749,644,781円
野村ＦｏＦｓ用・外国株式ＭＳＣＩ－ＫＯＫＵＳＡＩインデックスファンド（適格機関投資家専用）	11,686,490,883円
野村ＦＯＦｓ用・ターゲット・リターン・８資産バランス（２％コース向け）（適格機関投資家専用）	1,083,878円
バランスセレクト３０（確定拠出年金向け）	1,342,051円
バランスセレクト５０（確定拠出年金向け）	8,760,838円
バランスセレクト７０（確定拠出年金向け）	8,570,940円
野村外国株式インデックスファンド・ＭＳＣＩ－ＫＯＫＵＳＡＩ（確定拠出年金向け）	93,423,126,389円
マイバランス３０（確定拠出年金向け）	2,062,521,817円
マイバランス５０（確定拠出年金向け）	7,899,085,266円
マイバランス７０（確定拠出年金向け）	7,781,826,707円
マイバランスＤＣ３０	852,136,187円
マイバランスＤＣ５０	1,980,926,289円
マイバランスＤＣ７０	1,818,637,483円
野村ＤＣ外国株式インデックスファンド・ＭＳＣＩ－ＫＯＫＵＳＡＩ	41,028,697,501円
野村ＤＣ運用戦略ファンド	320,118,067円
野村ＤＣ運用戦略ファンド（マイルド）	22,453,642円
マイターゲット２０５０（確定拠出年金向け）	484,788,808円
マイターゲット２０３０（確定拠出年金向け）	443,428,795円
マイターゲット２０４０（確定拠出年金向け）	433,068,555円
野村世界６資産分散投信（ＤＣ）安定コース	20,190,082円
野村世界６資産分散投信（ＤＣ）インカムコース	9,434,872円
野村世界６資産分散投信（ＤＣ）成長コース	51,344,410円
野村資産設計ファンド（ＤＣ・つみたてＮＩＳＡ）２０３０	10,436,692円
野村資産設計ファンド（ＤＣ・つみたてＮＩＳＡ）２０４０	9,884,470円
野村資産設計ファンド（ＤＣ・つみたてＮＩＳＡ）２０５０	7,461,016円
マイターゲット２０３５（確定拠出年金向け）	270,463,575円
マイターゲット２０４５（確定拠出年金向け）	196,933,003円
マイターゲット２０５５（確定拠出年金向け）	122,814,489円
マイターゲット２０６０（確定拠出年金向け）	162,318,056円
野村資産設計ファンド（ＤＣ・つみたてＮＩＳＡ）２０６０	5,547,192円
マイターゲット２０６５（確定拠出年金向け）	56,120,490円
多資産分散投資ファンド（バランス１０）（確定拠出年金向け）	108,783,894円
みらいバランス・株式１０（富士通企業年金基金ＤＣ向け）	56,650,260円
野村ＤＣバランスファンド（年金運用戦略タイプ）	20,889,223円

＊は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

J－REITインデックス マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
(2023年 1月11日現在)	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	981,040,814
投資証券	43,317,543,200
未収入金	8,782,850
未収配当金	336,571,938
差入委託証拠金	140,458,720
流動資産合計	44,784,397,522
資産合計	44,784,397,522
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	50,407,000
未払金	16,051,000
未払解約金	17,993,182
未払利息	1,020
流動負債合計	84,452,202
負債合計	84,452,202
純資産の部	
元本等	
元本	17,299,966,438
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	27,399,978,882
元本等合計	44,699,945,320
純資産合計	44,699,945,320
負債純資産合計	44,784,397,522

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。
2.費用・収益の計上基準	先物取引 取引所の発表する計算日の清算値段を用いております。 受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。
3.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2,5838円
(10,000口当たり純資産額)	(25,838円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在	
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	
貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありませ	
ん。	
2. 時価の算定方法	
投資証券	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
派生商品評価勘定	
先物取引	
（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。	
コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務	
これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としており	
ます。	

（その他の注記）

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在	
期首	2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	16,407,125,666円
同期中における追加設定元本額	2,652,873,948円
同期中における一部解約元本額	1,760,033,176円
期末元本額	17,299,966,438円
期末元本額の内訳※	
野村世界6資産分散投信（安定コース）	1,683,154,828円
野村世界6資産分散投信（分配コース）	2,162,446,505円
野村世界6資産分散投信（成長コース）	1,012,296,030円
野村資産設計ファンド2015	13,351,772円
野村資産設計ファンド2020	14,404,758円
野村資産設計ファンド2025	18,206,646円
野村資産設計ファンド2030	20,566,299円
野村資産設計ファンド2035	21,294,415円
野村資産設計ファンド2040	38,733,979円
野村資産設計ファンド2045	5,843,248円
野村インデックスファンド・J-REIT	3,139,574,286円
ネクストコア	10,389,286円
野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	1,151,969,759円

野村J－REITインデックス（野村SMA・EW向け）	1,558,324,616円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	842,177,891円
野村資産設計ファンド2050	4,967,924円
インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	925,433円
インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	571,074円
インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	4,325,947円
インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	1,478,895円
インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	4,426,005円
野村6資産均等バランス	2,789,345,357円
野村世界REITインデックス Aコース（野村投資一任口座向け）	113,241,622円
野村資産設計ファンド2060	3,520,042円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）REIT	300,550,637円
ノムラFOFs用インデックスファンド・J－REIT（適格機関投資家専用）	94,163,432円
野村国内外マルチアセット（6資産）ファンド（適格機関投資家専用）	34,039,124円
J－REITインデックスファンド（適格機関投資家専用）	1,676,290,814円
野村国内外マルチアセット（6資産）オープン投信（適格機関投資家専用）	66,551,340円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2％コース向け）（適格機関投資家専用）	453,331円
オールウェザー・ファクターアロケーションMオープン投信（適格機関投資家専用）	11,379,921円
野村DC運用戦略ファンド	382,660,804円
野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	30,314,791円
野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	11,258,608円
野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	5,261,173円
野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	12,270,520円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	8,314,027円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	8,858,387円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	3,391,704円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	2,274,474円
多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	36,396,734円

＊は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

海外REITインデックス マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)	
(2023年 1月11日現在)	
資産の部	
流動資産	
預金	229,946,085
コール・ローン	48,455,845
投資証券	55,123,735,043
派生商品評価勘定	1,267,931
未収配当金	206,583,952
差入委託証拠金	153,133,667
流動資産合計	55,763,122,523
資産合計	55,763,122,523
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	7,127,092

(2023年 1月11日現在)

未払金	21,415,420
未払解約金	3,153,809
未払利息	50
その他未払費用	375,900
流動負債合計	32,072,271
負債合計	32,072,271
純資産の部	
元本等	
元本	18,671,727,054
剰余金	
期末剰余金又は期末欠損金（△）	37,059,323,198
元本等合計	55,731,050,252
純資産合計	55,731,050,252
負債純資産合計	55,763,122,523

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1.運用資産の評価基準及び評価方法	投資証券 原則として時価で評価しております。 時価評価にあたっては、市場価格のある有価証券についてはその最終相場(計算日に最終相場のない場合には、直近の日の最終相場)で評価しております。 先物取引 計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。 為替予約取引 計算日において予約為替の受渡日の対顧客先物相場の仲値で評価しております。
2.外貨建資産・負債の本邦通貨への換算基準	信託財産に属する外貨建資産・負債の円換算は、原則として、わが国における計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値によって計算しております。
3.費用・収益の計上基準	受取配当金 原則として配当落ち日において、確定配当金額又は予想配当金額を計上しております。 投資信託受益証券については、原則として収益分配金落ち日において、当該収益分配金額を計上しております。 有価証券売買等損益 約定日基準で計上しております。 派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。 為替差損益 約定日基準で計上しております。
4.金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(貸借対照表に関する注記)

2023年 1月11日現在	
1. 計算期間の末日における1単位当たりの純資産の額	
1口当たり純資産額	2.9848円

(10,000口当たり純資産額)

(29,848円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

2023年 1月11日現在

1. 貸借対照表計上額、時価及び差額

貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。

2. 時価の算定方法

投資証券

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

派生商品評価勘定

先物取引

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）に記載しております。

派生商品評価勘定

為替予約取引

1) 計算日において対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については以下のように評価しております。

①計算日において為替予約の受渡日(以下「当該日」といいます)の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

②計算日において当該日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いております。

・計算日に当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値を用いております。

2) 計算日に対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算日の対顧客相場の仲値で評価しております。

コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務

これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(その他の注記)

元本の移動及び期末元本額の内訳

2023年 1月11日現在

期首	2022年 7月12日
本報告書における開示対象ファンドの期首における当ファンドの元本額	17,044,439,977円
同期中における追加設定元本額	3,347,331,553円
同期中における一部解約元本額	1,720,044,476円
期末元本額	18,671,727,054円
期末元本額の内訳※	
野村世界6資産分散投信（安定コース）	1,500,978,140円
野村世界6資産分散投信（分配コース）	1,928,393,559円
野村世界6資産分散投信（成長コース）	902,729,878円
野村資産設計ファンド2015	11,897,444円
野村資産設計ファンド2020	12,845,654円
野村資産設計ファンド2025	16,232,616円
野村資産設計ファンド2030	18,340,301円

野村資産設計ファンド2035	18,989,607円
野村資産設計ファンド2040	34,535,707円
野村資産設計ファンド2045	5,210,802円
野村インデックスファンド・外国REIT	1,657,404,915円
ネクストコア	1,392,881円
野村インデックスファンド・海外5資産バランス	562,170,413円
野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	377,635,012円
野村資産設計ファンド2050	4,430,219円
インデックス・ブレンド（タイプⅠ）	1,109,620円
インデックス・ブレンド（タイプⅡ）	1,198,698円
インデックス・ブレンド（タイプⅢ）	7,781,667円
インデックス・ブレンド（タイプⅣ）	2,057,586円
インデックス・ブレンド（タイプⅤ）	7,701,955円
野村6資産均等バランス	2,487,433,370円
野村資産設計ファンド2060	3,139,049円
NEXT FUNDS 外国REIT・S&P先進国REIT指数（除く日本・為替ヘッジなし）連動型上場投信	5,091,881,610円
ファンドラップ（ウエルス・スクエア）REIT	2,954,048,297円
ノムラ海外REITインデックス・ファンドVA（適格機関投資家専用）	876,400,944円
ノムラFOFs用インデックスファンド・外国REIT（適格機関投資家専用）	69,302,583円
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2%コース向け）（適格機関投資家専用）	404,209円
野村DC運用戦略ファンド	44,977,244円
野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	3,424,049円
野村世界6資産分散投信（DC）安定コース	10,040,028円
野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース	4,691,729円
野村世界6資産分散投信（DC）成長コース	10,942,417円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030	7,414,155円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040	7,899,581円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2050	3,024,603円
野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2060	2,028,296円
多資産分散投資ファンド（バランス10）（確定拠出年金向け）	21,638,216円

※は当該親投資信託受益証券を投資対象とする証券投資信託ごとの元本額

2 ファンドの現況

純資産額計算書

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

2023年1月31日現在

I 資産総額	614,218,757円
II 負債総額	119,387円
III 純資産総額（I－II）	614,099,370円
IV 発行済口数	539,371,759口

V 1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.1385円
------------------	---------

野村世界6資産分散投信（DC）インカムコース

2023年1月31日現在

I 資産総額	288,769,214円
II 負債総額	63,215円
III 純資産総額（I－II）	288,705,999円
IV 発行済口数	241,151,518口
V 1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.1972円

野村世界6資産分散投信（DC）成長コース

2023年1月31日現在

I 資産総額	689,235,050円
II 負債総額	267,512円
III 純資産総額（I－II）	688,967,538円
IV 発行済口数	474,740,684口
V 1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.4513円

（参考）国内債券NOMURA－BPI総合 マザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	867,653,562,191円
II 負債総額	12,702,020,342円
III 純資産総額（I－II）	854,951,541,849円
IV 発行済口数	681,018,132,088口
V 1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	1.2554円

（参考）外国債券マザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	668,855,917,791円
II 負債総額	1,352,520,246円
III 純資産総額（I－II）	667,503,397,545円
IV 発行済口数	268,231,361,208口
V 1口当たり純資産額（Ⅲ／Ⅳ）	2.4885円

（参考）国内株式マザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	503,233,047,864円
II 負債総額	23,751,541,720円
III 純資産総額（I－II）	479,481,506,144円
IV 発行済口数	223,424,080,004口
V 1口当たり純資産額（III／IV）	2.1461円

（参考）外国株式MSCI－KOKUSAIマザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	1,425,282,669,061円
II 負債総額	5,074,699,607円
III 純資産総額（I－II）	1,420,207,969,454円
IV 発行済口数	311,091,961,787口
V 1口当たり純資産額（III／IV）	4.5652円

（参考）J－REITインデックス マザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	46,009,074,521円
II 負債総額	1,537,334,376円
III 純資産総額（I－II）	44,471,740,145円
IV 発行済口数	17,466,382,465口
V 1口当たり純資産額（III／IV）	2.5461円

（参考）海外REITインデックス マザーファンド

2023年1月31日現在

I 資産総額	58,585,299,692円
II 負債総額	52,663,201円
III 純資産総額（I－II）	58,532,636,491円
IV 発行済口数	18,589,941,372口
V 1口当たり純資産額（III／IV）	3.1486円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1 委託会社等の概況

＜更新後＞

(1) 資本金の額

2023年2月末現在、17,180百万円

会社が発行する株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,150,693株

過去5年間における主な資本金の額の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の機構

(a) 会社の意思決定機構

当社は監査等委員会設置会社であり、会社の機関として株主総会、取締役会のほか代表取締役および監査等委員会を設けております。各機関の権限は以下のとおりです。

株主総会

株主により構成され、取締役・会計監査人の選任・解任、剰余金の配当の承認、定款変更・合併等の重要事項の承認等を行います。

取締役会

取締役により構成され、当社の業務につき意思決定を行います。また代表取締役等を選任し、取締役の職務の執行を監督します。

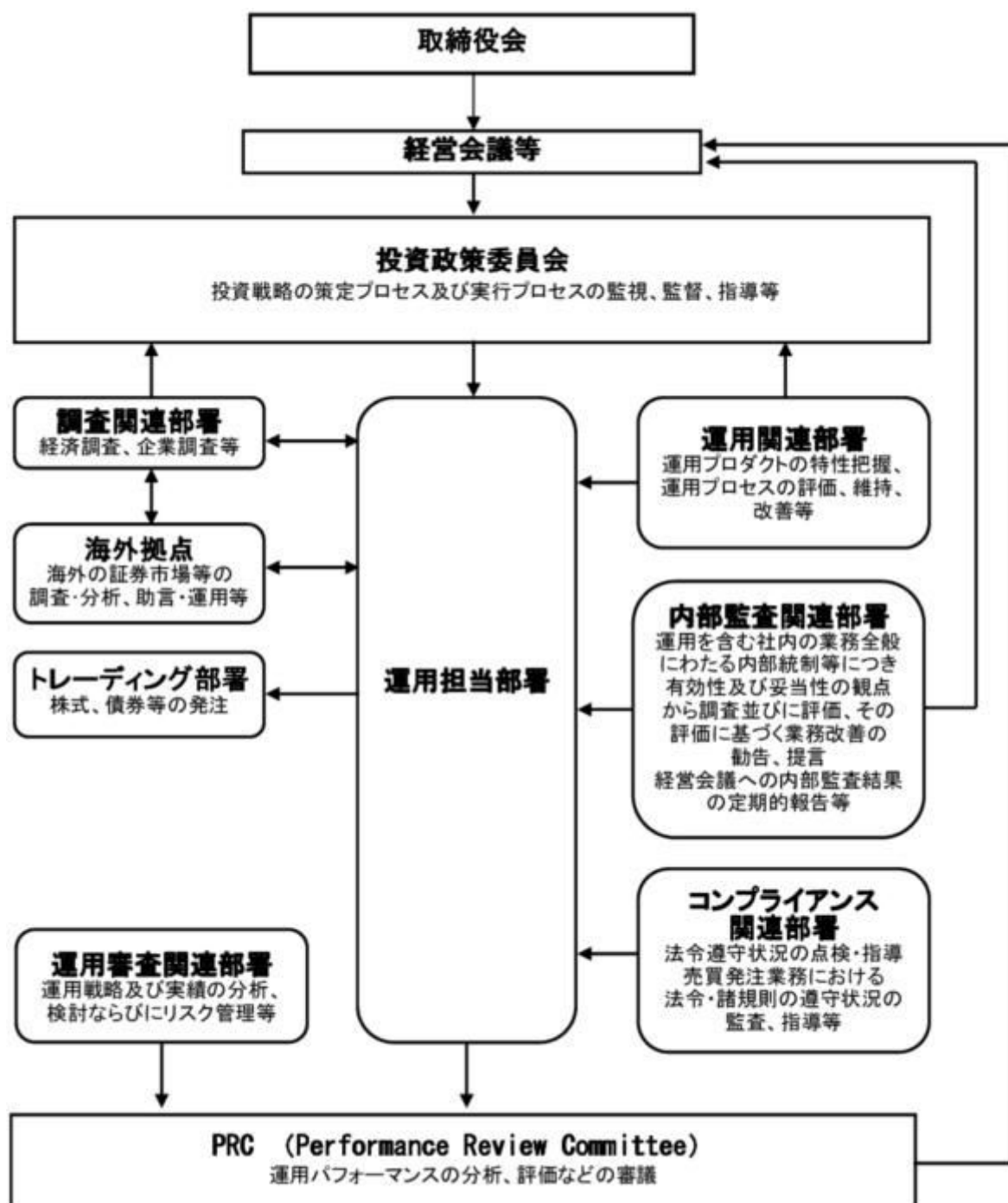
代表取締役・業務執行取締役

代表取締役を含む各業務執行取締役は、当社の業務の執行を行います。代表取締役は当社を代表いたします。また取締役会により委任された一定の事項について、代表取締役を含む業務執行取締役で構成される経営会議が意思決定を行います。なお、当社は執行役員制度を導入しており、経営会議の構成員には執行役員が含まれます。

監査等委員会

監査等委員である取締役3名以上（但し、過半数は社外取締役）で構成され、取締役の職務執行の適法性および妥当性に関する監査を行うとともに、株主総会に提出する会計監査人の選任・解任・不再任に関する議案の内容や監査等委員である取締役以外の取締役の選任・解任・辞任および報酬等についての監査等委員会としての意見を決定します。

(b)投資信託の運用体制



2 事業の内容及び営業の概況

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託者は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行っています。また「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業に係る業務の一部及び投資助言業務を行っています。

委託者の運用する証券投資信託は2023年1月31日現在次の通りです(ただし、親投資信託を除きます。)。

種類	本数	純資産総額(百万円)
追加型株式投資信託	1,006	39,212,144
単位型株式投資信託	197	844,284
追加型公社債投資信託	14	6,391,881
単位型公社債投資信託	483	1,102,736
合計	1,700	47,551,045

3 委託会社等の経理状況

<更新後>

1. 委託会社である野村アセットマネジメント株式会社(以下「委託会社」という)の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

委託会社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という)、ならびに同規則第38条及び第57条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」(平成19年8月6日内閣府令第52号)により作成しております。

2. 財務諸表及び中間財務諸表の記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

3. 委託会社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、事業年度(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の財務諸表ならびに中間会計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の中間財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人の監査及び中間監査を受けております。

(1) 貸借対照表

		前事業年度 (2021年3月31日)	当事業年度 (2022年3月31日)
区分	注記 番号	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)			
流動資産			
現金・預金		4,281	2,006
金銭の信託		35,912	35,894
有価証券		30,400	29,300
前払金		-	11
前払費用		167	454
未収入金		632	694
未収委託者報酬		24,499	27,176
未収運用受託報酬		4,347	4,002
短期貸付金		-	1,835
その他		268	57

貸倒引当金			△14		△15
流動資産計			100,496		101,417
固定資産					
有形固定資産			2,666		1,744
建物	※ 2	1,935		1,219	
器具備品	※ 2	731		525	
無形固定資産			5,429		5,210
ソフトウェア		5,428		5,209	
その他		0		0	
投資その他の資産			16,487		16,067
投資有価証券		1,767		2,201	
関係会社株式		9,942		9,214	
長期差入保証金		330		443	
長期前払費用		15		13	
前払年金費用		1,301		1,297	
繰延税金資産		3,008		2,784	
その他		122		112	
固定資産計			24,583		23,023
資産合計			125,080		124,440

		前事業年度 (2021年3月31日)		当事業年度 (2022年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
(負債の部)					
流動負債					
預り金			123		120
未払金			16,948		17,615
未払収益分配金		0		0	
未払償還金		8		17	
未払手数料		7,256		8,357	
関係会社未払金		8,671		8,149	
その他未払金		1,011		1,089	
未払費用	※ 1		9,171		9,512
未払法人税等			2,113		1,319
前受収益			22		22
賞与引当金			3,795		4,416
その他			-		121
流動負債計			32,175		33,127
固定負債					
退職給付引当金			3,299		3,194
時効後支払損引当金			580		588
資産除去債務			1,371		1,123
固定負債計			5,250		4,905
負債合計			37,425		38,033
(純資産の部)					
株主資本			87,596		86,232
資本金			17,180		17,180
資本剰余金			13,729		13,729
資本準備金		11,729		11,729	
その他資本剰余金		2,000		2,000	

利益剰余金			56,686		55,322
利益準備金		685		685	
その他利益剰余金		56,001		54,637	
別途積立金		24,606		24,606	
繰越利益剰余金		31,395		30,030	
評価・換算差額等			57		174
その他有価証券評価差額金			57		174
純資産合計			87,654		86,407
負債・純資産合計			125,080		124,440

(2) 損益計算書

		前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業収益					
委託者報酬			106,355		115,733
運用受託報酬			16,583		17,671
その他営業収益			428		530
営業収益計			123,367		133,935
営業費用					
支払手数料			34,739		39,087
広告宣伝費			1,005		804
公告費			0		0
調査費			24,506		26,650
調査費		5,532		4,867	
委託調査費		18,974		21,783	
委託計算費			1,358		1,384
営業雑経費			4,149		3,094
通信費		73		72	
印刷費		976		918	
協会費		88		79	
諸経費		3,011		2,023	
営業費用計			65,760		71,021
一般管理費					
給料			10,985		12,033
役員報酬		147		229	
給料・手当		7,156		7,375	
賞与		3,682		4,427	
交際費			35		47
旅費交通費			64		65
租税公課			1,121		1,049
不動産賃借料			1,147		1,432
退職給付費用			1,267		1,212
固定資産減価償却費			2,700		2,525
諸経費			10,739		11,190
一般管理費計			28,063		29,556

営業利益			29,542		33,357
------	--	--	--------	--	--------

		前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
区分	注記 番号	金額(百万円)		金額(百万円)	
営業外収益					
受取配当金	※ 1	4,540		3,530	
受取利息		0		10	
金銭の信託運用益		1,698		-	
その他		447		1,268	
営業外収益計			6,687		4,809
営業外費用					
金銭の信託運用損		-		1,387	
時効後支払損引当金繰入額		13		12	
為替差損		26		23	
その他		32		266	
営業外費用計			72		1,689
経常利益			36,157		36,477
特別利益					
投資有価証券等売却益		71		26	
株式報酬受入益		48		53	
固定資産売却益		-		9	
資産除去債務履行差額		-		141	
移転補償金		2,077		-	
特別利益計			2,197		230
特別損失					
投資有価証券等売却損		-		0	
投資有価証券等評価損		36		-	
関係会社株式評価損		582		727	
固定資産除却損	※ 2	105		374	
資産除去債務履行差額		-		0	
事務所移転費用		406		54	
特別損失計			1,129		1,158
税引前当期純利益			37,225		35,549
法人税、住民税及び事業税			11,239		10,474
法人税等調整額			△290		171
当期純利益			26,276		24,904

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月 1 日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					
		資本剰余金			利益剰余金	
					その他利益剰余金	株 主

	資本金	資 本 準備金	その他 資 本 剰余金	資 本 剰余金 合 計	利 益 準備金	別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金	利 益 剰余金 合 計	資 本 合 計
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	29,069	54,360	85,270
当期変動額									
剰余金の配当							△23,950	△23,950	△23,950
当期純利益							26,276	26,276	26,276
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	2,326	2,326	2,326
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,395	56,686	87,596

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	10	10	85,281
当期変動額			
剰余金の配当			△23,950
当期純利益			26,276
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	46	46	46
当期変動額合計	46	46	2,372
当期末残高	57	57	87,654

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								株 主 資 本 合 計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資 本 準備金	その他 資 本 剰余金	資 本 剰余金 合 計	利 益 準備金	その他利益剰余金		利 益 剰余金 合 計	
						別 途 積立金	繰 越 利 益 剰余金		
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	31,395	56,686	87,596
当期変動額									
剰余金の配当							△26,268	△26,268	△26,268
当期純利益							24,904	24,904	24,904

株主資本以外の項目の当期変動額（純額）									
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△1,364	△1,364	△1,364
当期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232

(単位：百万円)

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	57	57	87,654
当期変動額			
剰余金の配当			△26,268
当期純利益			24,904
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	116	116	116
当期変動額合計	116	116	△1,247
当期末残高	174	174	86,407

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 … 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 時価のあるもの … 決算期末日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 時価のないもの … 移動平均法による原価法
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法
4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
5. 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。 主な耐用年数は以下の通りであります。 建物 6年 附属設備 6～15年 器具備品 4～15年

6. 引当金の計上基準

(2) 無形固定資産及び投資その他の資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(1) 貸倒引当金

一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

賞与の支払いに備えるため、支払見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。

退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。

(4) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

7. 収益及び費用の計上基準

当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。

① 委託者報酬

委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。

② 運用受託報酬

運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。

③ 成功報酬

成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。

8. 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。

9. 連結納税制度の適用	連結納税制度を適用しております。 なお、当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」（実務対応報告第39号 2020年3月31日）第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日）第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。
---------------------	--

[会計上の見積りに関する注記]

該当事項はありません。

[会計方針の変更]

（収益認識に関する会計基準等の適用）

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

これにより、営業外収益に計上しておりますシステム利用サービスに係る収益について、従来は、当該システム利用サービスに係るシステム関連費用を控除し、純額で認識しておりましたが、控除せず、総額で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の繰越利益剰余金に反映させ、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

これによる財務諸表に与える影響は軽微であります。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度に係る「収益認識に関する注記」については記載しておりません。

（時価の算定に関する会計基準の適用）

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を当会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用しております。これによる財務諸表に与える影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。ただし、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第19号 2019年7月4日）第7-4項に定める経過的な取扱いに従って、当該注記のうち前事業年度に係るものについては記載しておりません。

[未適用の会計基準等]

- ・「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）

(1) 概要

投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いが定められました。

(2) 適用予定日

2023年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

・「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日 企業会計基準委員会）

(1) 概要

2020年3月27日に成立した「所得税法等の一部を改正する法律」（令和2年法律第8号）において、連結納税制度を見直しグループ通算制度へ移行することとされたことを受け、グループ通算制度を適用する場合における法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示の取扱いを明らかにすることを目的として企業基準委員会から公表されたものです。

(2) 適用予定日

2023年3月期の期首より適用予定であります。

(3) 当該会計基準等の適用による影響

「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」の適用による財務諸表に与える影響額については、現時点で評価中であります。

[注記事項]

◇ 貸借対照表関係

前事業年度末 (2021年3月31日)	当事業年度末 (2022年3月31日)
※ 1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている ものは、次のとおりであります。 未払費用 1,256百万円	※ 1. 関係会社に対する資産及び負債 区分掲記されたもの以外で各科目に含まれている ものは、次のとおりであります。 未払費用 1,223百万円
※ 2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物 346百万円 器具備品 643 合計 990	※ 2. 有形固定資産より控除した減価償却累計額 建物 589百万円 器具備品 618 合計 1,207

◇ 損益計算書関係

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
※ 1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 4,334百万円	※ 1. 関係会社に係る注記 区分掲記されたもの以外で関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 3,525百万円
※ 2. 固定資産除却損 建物 -百万円 器具備品 2 ソフトウェア 102 ア 合計 105	※ 2. 固定資産除却損 建物 346百万円 器具備品 28 ソフトウェア - ア 合計 374

◇ 株主資本等変動計算書関係

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	—	—	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2020年5月19日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	23,950百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,650円
基準日	2020年3月31日
効力発生日	2020年6月30日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2021年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	26,268百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,100円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月30日

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首株式数	当事業年度増加株式数	当事業年度減少株式数	当事業年度末株式数
普通株式	5,150,693株	—	—	5,150,693株

2. 剰余金の配当に関する事項

（1）配当財産が金銭である場合における当該金銭の総額

2021年5月14日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	26,268百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	5,100円
基準日	2021年3月31日
効力発生日	2021年6月30日

（2）基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。

普通株式の配当に関する事項

配当金の総額	24,877百万円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	4,830円
基準日	2022年3月31日
効力発生日	2022年6月30日

◇ 金融商品関係

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

（1）金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的として、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（2）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとん

どないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金・預金	4,281	4,281	-
(2)金銭の信託	35,912	35,912	-
(3)未収委託者報酬	24,499	24,499	-
(4)未収運用受託報酬	4,347	4,347	-
(5)有価証券及び投資有価証券	30,400	30,400	-
その他有価証券	30,400	30,400	-
資産計	99,441	99,441	-
(6)未払金	16,948	16,948	-
未払収益分配金	0	0	-
未払償還金	8	8	-
未払手数料	7,256	7,256	-
関係会社未払金	8,671	8,671	-
その他未払金	1,011	1,011	-
(7)未払費用	9,171	9,171	-
(8)未払法人税等	2,113	2,113	-
負債計	28,233	28,233	-

注1：金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金・預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。これらの時価について投資信託については基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引

先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

その他有価証券

譲渡性預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。また、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については、「有価証券関係」注記を参照ください。

(6) 未払金、(7) 未払費用、(8) 未払法人税等

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

注2：非上場株式等（貸借対照表計上額：投資有価証券1,767百万円、関係会社株式9,942百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュフローを見積もることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「有価証券及び投資有価証券」には含めておりません。なお、当事業年度において、非上場株式について618百万円（投資有価証券35百万円、関係会社株式582百万円）減損処理を行っております。

注3：金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	4,281	-	-	-
金銭の信託	35,912	-	-	-
未収委託者報酬	24,499	-	-	-
未収運用受託報酬	4,347	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	30,400	-	-	-
合計	99,441	-	-	-

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持等を目的と

して、当該投資信託を特定金外信託を通じ保有しております。特定金外信託を通じ行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託にかかる将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、投資信託保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

なお、余資運用に関しては、譲渡性預金等安全性の高い金融資産で運用し、資金調達に関しては、親会社である野村ホールディングス株式会社及びその他の金融機関からの短期借入による方針であります。

（２）金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

特定金外信託を通じ保有している投資信託につきましては、為替変動リスクや価格変動リスクに晒されておりますが、その大部分については為替予約、株価指数先物、債券先物などのデリバティブ取引によりヘッジしております。また、株式につきましては、政策投資として、あるいは業務上の関係維持を目的として保有しておりますが、価格変動リスクに晒されております。有価証券及び投資有価証券並びに金銭の信託については財務部が管理しており、定期的に時価や発行体の財務状況を把握し、その内容を経営に報告しております。

デリバティブ取引の実行及び管理については、財務部及び運用部で行っております。デリバティブ取引については、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しているため信用リスクはほとんどないと認識しております。財務部は月に一度デリバティブ取引の内容を含んだ財務報告を経営会議で行っております。

また、営業債権である未収委託者報酬は、投資信託約款に基づき、信託財産から委託者に対して支払われる信託報酬の未払金額であり、信託財産は受託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しております。同じく営業債権である未収運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき、運用受託者に対して支払われる報酬の未払金額であります。この未収運用受託報酬は、信託財産から運用受託者に対して支払われる場合は、信託財産が信託銀行において分別保管されているため、信用リスクはほとんどないと認識しており、顧客から直接運用受託者に対して支払われる場合は、当該顧客の信用リスクにさらされておりますが、顧客ごとに決済期日および残高を管理することにより、回収懸念の早期把握や回収リスクの軽減を図っております。

２．金融商品の時価等に関する事項

2022年3月31日における貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	35,894	35,894	-
資産計	35,894	35,894	-
(2)その他（デリバティブ取引）	121	121	-
負債計	121	121	-

（注）１ 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注）２ 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	当事業年度（百万円）
市場価格のない株式等（※）1. 2	9,529
組合出資金等	1,886
合計	11,415

（※）1 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

2 非上場株式等について、当事業年度において727百万円減損処理を行っております。

（注）3 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
預金	2,006	-	-	-
金銭の信託	35,894	-	-	-
未収委託者報酬	27,176	-	-	-
未収運用受託報酬	4,002	-	-	-
有価証券及び投資有価証券				
その他有価証券	29,300	-	-	-
短期貸付金	1,835			
合計	100,215	-	-	-

3. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

区分	貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）（※）	-	1,736	-	1,736
資産計	-	1,736	-	1,736
デリバティブ取引（通貨関連）	-	121	-	121
負債計	-	121	-	121

（※）時価算定適用指針第26項に従い経過措置を適用し、投資信託を主要な構成物とする金銭の信託34,157百万円は表中に含まれておりません。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル2の時価に分類しております。

◇ 有価証券関係

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

1. 売買目的有価証券(2021年3月31日)

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券(2021年3月31日)

該当事項はありません。

3. 子会社株式及び関連会社株式(2021年3月31日)

時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額

区分	前事業年度 (百万円)
子会社株式	9,835
関連会社株式	106

4. その他有価証券(2021年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 譲渡性預金	30,400	30,400	-
小計	30,400	30,400	-
合計	30,400	30,400	-

※非上場株式（貸借対照表計上額312百万円）及び投資事業有限責任組合への出資金（貸借対照表計上額1,455百万円）は、記載しておりません。

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 売買目的有価証券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券(2022年3月31日)

該当事項はありません。

3. 子会社株式及び関連会社株式(2022年3月31日)

市場価格のない株式等の貸借対照表計上額

区分	当事業年度 (百万円)
子会社株式	9,107
関連会社株式	106

4. その他有価証券(2022年3月31日)

区分	貸借対照表 計上額 (百万円)	取得原価 (百万円)	差額 (百万円)
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 株式	-	-	-
小計	-	-	-
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 譲渡性預金	29,300	29,300	-
小計	29,300	29,300	-
合計	29,300	29,300	-

※市場価格のない株式等（貸借対照表計上額315百万円）及び組合出資金等（貸借対照表計上額1,886百万円）は、記載しておりません。

5. 事業年度中に売却したその他有価証券（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

該当事項はありません。

◇ デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち一年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,714	-	△121	△121

◇ 退職給付関係

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
1. 採用している退職給付制度の概要	
当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。	
2. 確定給付制度	
(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表	
退職給付債務の期首残高	23,761 百万円
勤務費用	1,016
利息費用	139
数理計算上の差異の発生額	△893
退職給付の支払額	△781
その他	28
退職給付債務の期末残高	23,270
(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表	
年金資産の期首残高	17,413 百万円
期待運用収益	409
数理計算上の差異の発生額	1,328
事業主からの拠出額	824
退職給付の支払額	△626
年金資産の期末残高	19,349
(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表	
積立型制度の退職給付債務	19,959 百万円
年金資産	△19,349
	610
非積立型制度の退職給付債務	3,311
未積立退職給付債務	3,921
未認識数理計算上の差異	△2,074
未認識過去勤務費用	151
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,998
退職給付引当金	3,299
前払年金費用	△1,301
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,998
(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額	
勤務費用	1,016 百万円
利息費用	139
期待運用収益	△409
数理計算上の差異の費用処理額	469
過去勤務費用の費用処理額	△34
確定給付制度に係る退職給付費用	1,182
(5) 年金資産に関する事項	
①年金資産の主な内容	
年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。	
債券	52%
株式	30%
生保一般勘定	11%
生保特別勘定	7%
その他	0%
合計	100%

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.8%
退職一時金制度の割引率	0.5%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、206百万円でした。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として確定給付型企业年金制度及び退職一時金制度を、また確定拠出型の制度として確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

退職給付債務の期首残高	23,270 百万円
勤務費用	961
利息費用	176
数理計算上の差異の発生額	△1,521
退職給付の支払額	△904
その他	△14
退職給付債務の期末残高	21,967

(2) 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

年金資産の期首残高	19,349 百万円
期待運用収益	454
数理計算上の差異の発生額	△258
事業主からの拠出額	814
退職給付の支払額	△672
年金資産の期末残高	19,687

(3) 退職給付債務及び年金資産の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金及び前払年金費用の調整表

積立型制度の退職給付債務	18,807 百万円
年金資産	△19,687
	△879
非積立型制度の退職給付債務	3,159
未積立退職給付債務	2,279
未認識数理計算上の差異	△489
未認識過去勤務費用	106
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896
退職給付引当金	3,194
前払年金費用	△1,297
貸借対照表上に計上された負債と資産の純額	1,896

(4) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	961 百万円
利息費用	176
期待運用収益	△454
数理計算上の差異の費用処理額	322
過去勤務費用の費用処理額	△45
確定給付制度に係る退職給付費用	959

(5) 年金資産に関する事項

①年金資産の主な内容

年金資産合計に対する主な分類毎の比率は、次の通りです。

債券	51%
株式	32%
生保一般勘定	10%
生保特別勘定	6%
その他	1%
合計	100%

②長期期待運用収益率の設定方法

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

(6) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎

確定給付型企业年金制度の割引率	0.9%
退職一時金制度の割引率	0.6%
長期期待運用収益率	2.5%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、197百万円でした。

◇ 税効果会計関係

前事業年度末 (2021年3月31日)	当事業年度末 (2022年3月31日)
------------------------	------------------------

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳		1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳	
繰延税金資産	百万円	繰延税金資産	百万円
賞与引当金	1,176	賞与引当金	1,381
退職給付引当金	1,022	退職給付引当金	990
関係会社株式評価減	784	関係会社株式評価減	1,010
未払事業税	430	未払事業税	285
投資有価証券評価減	428	投資有価証券評価減	110
減価償却超過額	223	減価償却超過額	272
時効後支払損引当金	179	時効後支払損引当金	182
関係会社株式売却損	148	関係会社株式売却損	505
ゴルフ会員権評価減	135	ゴルフ会員権評価減	92
資産除去債務	425	資産除去債務	348
未払社会保険料	95	未払社会保険料	114
その他	358	その他	84
繰延税金資産小計	5,410	繰延税金資産小計	5,376
評価性引当額	△1,530	評価性引当額	△1,795
繰延税金資産合計	3,879	繰延税金資産合計	3,581
繰延税金負債		繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	△361	資産除去債務に対応する除去費用	△233
関係会社株式評価益	△80	関係会社株式評価益	△81
その他有価証券評価差額金	△25	その他有価証券評価差額金	△78
前払年金費用	△403	前払年金費用	△402
繰延税金負債合計	△871	繰延税金負債合計	△796
繰延税金資産の純額	3,008	繰延税金資産の純額	2,784
2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳		2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳	
法定実効税率	31.0%	法定実効税率	31.0%
(調整)		(調整)	
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.0%	交際費等永久に損金に算入されない項目	0.0%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	△3.5%	受取配当金等永久に益金に算入されない項目	△2.9%
タックスヘイブン税制	1.9%	タックスヘイブン税制	1.8%
外国税額控除	△0.5%	外国税額控除	△0.5%
外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.2%	外国子会社からの受取配当に係る外国源泉税	0.4%
その他	0.3%	その他	0.1%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.4%	税効果会計適用後の法人税等の負担率	29.9%

◇ 資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

1. 当該資産除去債務の概要

本社の不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務等であります。

2. 当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を当該不動産賃貸借契約期間とし、割引率は0.0%を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

3. 当該資産除去債務の総額の増減

(単位：百万円)

	前事業年度	当事業年度
	自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日	自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日
期首残高	-	1,371
有形固定資産の取得に伴う増加	1,371	48
資産除去債務の履行による減少	-	△296
期末残高	1,371	1,123

◇ 収益認識に関する注記

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当事業年度（自 2021年4月 1日 至 2022年3月31日）

委託者報酬	115,670百万円
運用受託報酬	16,675百万円
成功報酬（注）	1,058百万円
その他営業収益	530百万円
合計	133,935百万円

（注）成功報酬は、損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

〔重要な会計方針〕 7. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

◇ セグメント情報等

前事業年度（自 2020年4月 1日 至 2021年3月31日）

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

（1）製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（2）地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

（１）製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

（２）地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

（３）主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

◇ 関連当事者情報

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

（イ）子会社等
該当はありません。

（ウ）兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
----	--------	-----	-----	-------	--------------------	-----------	-------	---------------	----	---------------

親会社の子会社	野村證券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	—	当社投資信託の募集の取扱及び売出の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*1）	26,722	未払手数料	5,690
							コマーシャル・ペーパーの償還（*2）	20,000	有価証券	-
							有価証券受取利息	0	その他営業外収益	0

（エ）役員及び個人主要株主等

該当はありません。

（注）1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

（*1） 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

（*2） コマーシャル・ペーパーの購入については、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

（1）親会社情報

野村ホールディングス(株)（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

（2）重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 関連当事者との取引

（ア）親会社及び法人主要株主等

該当はありません。

（イ）子会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	ノムラ・エーエム・ファイナンス・インク	ケイマン	2,500 (米ドル)	資金管理	直接100%	資産の賃貸借	資金の貸付	3,427	短期貸付金	1,835
							資金の返済	1,709		
							貸付金利息の受取	9	未収利息	4

(ウ) 兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金	事業の内容	議決権等の所有 (被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社の子会社	野村證券株式会社	東京都中央区	10,000 (百万円)	証券業	—	当社投資信託の募集の取扱及び売上の取扱ならびに投資信託に係る事務代行の委託等 役員の兼任	投資信託に係る事務代行手数料の支払（*1）	29,119	未払手数料	6,013

(エ) 役員及び個人主要株主等

該当はありません。

(注) 1. 上記の金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(*1) 投資信託に係る事務代行手数料については、商品性等を勘案し総合的に決定しております。

2. 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

野村ホールディングス(株)（東京証券取引所、名古屋証券取引所、シンガポール証券取引所、ニューヨーク証券取引所に上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務諸表

該当はありません。

◇ 1株当たり情報

前事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		当事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
1株当たり純資産額	17,018円01銭	1株当たり純資産額	16,775円81銭
1株当たり当期純利益	5,101円61銭	1株当たり当期純利益	4,835円10銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	
1株当たり当期純利益の算定上の基礎		1株当たり当期純利益の算定上の基礎	
損益計算書上の当期純利益	26,276百万円	損益計算書上の当期純利益	24,904百万円
普通株式に係る当期純利益	26,276百万円	普通株式に係る当期純利益	24,904百万円
普通株主に帰属しない金額の主要な内訳		普通株主に帰属しない金額の主要な内訳	
該当事項はありません。		該当事項はありません。	
普通株式の期中平均株式数	5,150,693株	普通株式の期中平均株式数	5,150,693株

中間財務諸表

◇ 中間貸借対照表

		2022年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金・預金		1,959
金銭の信託		40,970
有価証券		8,000
未収委託者報酬		27,052
未収運用受託報酬		4,915
短期貸付金		1,448
その他		923
貸倒引当金		△16
流動資産計		85,253
固定資産		
有形固定資産	※ 1	1,534
無形固定資産		5,483
ソフトウェア		5,482
その他		0
投資その他の資産		15,974
投資有価証券		2,133
関係会社株式		10,025
長期差入保証金		519
前払年金費用		1,433
繰延税金資産		1,758
その他		104
固定資産計		22,993
資産合計		108,246

		2022年9月30日現在
区分	注記 番号	金額(百万円)
(負債の部)		
流動負債		
未払金		12,363
未払収益分配金		0
未払償還金		11
未払手数料		8,301
関係会社未払金		3,205
その他未払金	※ 2	842
未払費用		9,504
未払法人税等		1,213
賞与引当金		2,096
その他		226
流動負債計		25,405
固定負債		
退職給付引当金		3,045
時効後支払損引当金		595
資産除去債務		1,123
固定負債計		4,763
負債合計		30,169
(純資産の部)		
株主資本		77,770
資本金		17,180
資本剰余金		13,729
資本準備金		11,729
その他資本剰余金		2,000
利益剰余金		46,860
利益準備金		685
その他利益剰余金		46,175
別途積立金		24,606
繰越利益剰余金		21,568
評価・換算差額等		307

その他有価証券評価差額金		307
純資産合計		78,077
負債・純資産合計		108,246

◇中間損益計算書

		自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
区分	注記 番号	金額(百万円)
営業収益		
委託者報酬		57,740
運用受託報酬		9,162
その他営業収益		181
営業収益計		67,085
営業費用		
支払手数料		19,423
調査費		14,540
その他営業費用		2,613
営業費用計		36,577
一般管理費	※ 1	14,575
営業利益		15,931
営業外収益	※ 2	7,366
営業外費用	※ 3	1,574
経常利益		21,723
特別利益	※ 4	30
特別損失	※ 5	49
税引前中間純利益		21,705
法人税、住民税及び事業税		4,322
法人税等調整額		966
中間純利益		16,415

◇中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本					
		資本剰余金			利益剰余金	
					その他利益剰余金	株 主

	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計	資本合計
当期首残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	30,030	55,322	86,232
当中間期変動額									
剰余金の配当							△24,877	△24,877	△24,877
中間純利益							16,415	16,415	16,415
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	—	—	—	—	—	—	△8,461	△8,461	△8,461
当中間期末残高	17,180	11,729	2,000	13,729	685	24,606	21,568	46,860	77,770

（単位：百万円）

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	174	174	86,407
当中間期変動額			
剰余金の配当			△24,877
中間純利益			16,415
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	132	132	132
当中間期変動額合計	132	132	△8,329
当中間期末残高	307	307	78,077

[重要な会計方針]

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	(1) 子会社株式及び関連会社株式 … 移動平均法による原価法 (2) その他有価証券 市場価格のない … 時価法 株式等以外のもの (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。) 市場価格のない … 移動平均法による原価法 株式等
2. 金銭の信託の評価基準及び評価方法	時価法
3. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法	時価法
4. 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準	外貨建金銭債権債務は、中間会計期間末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)、並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

主な耐用年数は以下の通りであります。

建物	6年
附属設備	6～15年
器具備品	4～15年

(2) 無形固定資産及び投資その他の資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

6. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

賞与の支払いに備えるため、支払見込額に基づき当中間会計期間に見合う分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職一時金及び確定給付型企业年金について、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

① 退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

② 数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

確定給付型企业年金に係る数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度の翌期から費用処理することとしております。また、退職一時金に係る数理計算上の差異は、発生した事業年度の翌期に一括して費用処理することとしております。

退職一時金及び確定給付型企业年金に係る過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数による定額法により、発生した事業年度から費用処理することとしております。

(4) 時効後支払損引当金

時効成立のため利益計上した収益分配金及び償還金について、受益者からの今後の支払請求に備えるため、過去の支払実績に基づく将来の支払見込額を計上しております。

7. 収益及び費用の計上基準	当社は、資産運用サービスから委託者報酬、運用受託報酬を稼得しております。これらには成功報酬が含まれる場合があります。 ① 委託者報酬 委託者報酬は、投資信託の信託約款に基づき日々の純資産総額に対する一定割合として認識され、確定した報酬を投資信託によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、投資信託の運用期間にわたり収益として認識しております。 ② 運用受託報酬 運用受託報酬は、投資顧問契約に基づき契約期間の純資産総額等に対する一定割合として認識され、確定した報酬を顧問口座によって主に年4回、もしくは年2回受取ります。当該報酬は期間の経過とともに履行義務が充足されるという前提に基づき、顧問口座の運用期間にわたり収益として認識しております。 ③ 成功報酬 成功報酬は、対象となる投資信託または顧問口座の特定のベンチマークまたはその他のパフォーマンス目標を上回る超過運用益に対する一定割合として認識されます。当該報酬は成功報酬を受領する権利が確定した時点で収益として認識しております。
8. 消費税等の会計処理方法	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっており、控除対象外消費税及び地方消費税は、当期の費用として処理しております。

[会計方針の変更]

（時価の算定に関する会計基準の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

これによる中間財務諸表に与える影響はありません。

[追加情報]

当社は、当中間会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。

また、実務対応報告第42号第32項（1）に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

[注記事項]

◇中間貸借対照表関係

2022年9月30日現在	
※1 有形固定資産の減価償却累計額	1,577百万円

※ 2 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は、相殺のうえ、金額的重要性が乏しいため、流動負債の「その他未払金」に含めて表示しております。

◇中間損益計算書関係

		自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
※ 1	減価償却実施額	
	有形固定資産	210百万円
	無形固定資産	992百万円
※ 2	営業外収益のうち主要なもの 受取配当金	6,933百万円
※ 3	営業外費用のうち主要なもの 金銭の信託運用損 時効後支払損引当金繰入	1,439百万円 7百万円
※ 4	特別利益の内訳 投資有価証券等売却益 株式報酬受入益	10百万円 19百万円
※ 5	特別損失の内訳 投資有価証券等売却損 固定資産除却損	16百万円 33百万円

◇中間株主資本等変動計算書関係

		自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日										
1	発行済株式に関する事項											
	<table><tr><td>株式の種類</td><td>当事業年度期首</td><td>増加</td><td>減少</td><td>当中間会計期間末</td></tr><tr><td>普通株式</td><td>5,150,693株</td><td>—</td><td>—</td><td>5,150,693株</td></tr></table>	株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末	普通株式	5,150,693株	—	—	5,150,693株	
株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当中間会計期間末								
普通株式	5,150,693株	—	—	5,150,693株								
2	配当に関する事項											
	配当金支払額											
	2022年5月18日開催の取締役会において、次のとおり決議しております。											
	・普通株式の配当に関する事項											
	(1) 配当金の総額	24,877百万円										
	(2) 1株当たり配当額	4,830円										
	(3) 基準日	2022年3月31日										
	(4) 効力発生日	2022年6月30日										

◇金融商品関係

1. 金融商品の時価等に関する事項

2022年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価、及びこれらの差額については次のとおりです。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
(1)金銭の信託	40,970	40,970	-

資産計	40,970	40,970	-
(2)その他（デリバティブ取引）	74	74	-
負債計	74	74	-

(注1) 現金・預金、未収委託者報酬、未収運用受託報酬、有価証券、短期貸付金、未払金、未払費用、未払法人税等は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注2) 投資有価証券及び関係会社株式は、市場価格のない株式等及び組合出資金等であることから、上表には含まれておりません。当該金融商品の中間貸借対照表計上額は以下のとおりであります。

	中間貸借対照表計上額 (百万円)
市場価格のない株式等（※）	10,260
組合出資金等	1,898
合計	12,159

(※) 市場価格のない株式等には非上場株式等が含まれております。

2. 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接または間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価で中間貸借対照表に計上している金融商品

区分	中間貸借対照表計上額（単位：百万円）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
金銭の信託（運用目的・その他）	-	40,970	-	40,970
資産計	-	40,970	-	40,970
デリバティブ取引（通貨関連）	-	74	-	74
負債計	-	74	-	74

(注) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

金銭の信託

信託財産は、主として投資信託、デリバティブ取引、その他の資産（コールローン・委託証拠金等）で構成されております。

信託財産を構成する金融商品の時価について、投資信託は基準価額、デリバティブ取引に関しては、上場デリバティブ取引は取引所の価格、為替予約取引は先物為替相場、店頭デリバティブ取引は取引先金融機関から提示された価格等によっております。また、その他の資産については短期間で決済されるため、時価は帳簿価額とほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。構成物のレベルに基づき、レベル2の時価に分類しております。

デリバティブ取引

時価の算定方法は、取引先金融機関から提示された価格等に基づき算出しており、レベル2の時価に分類しております。

◇有価証券関係

当中間会計期間末（2022年9月30日）

1. 売買目的有価証券(2022年9月30日)

該当事項はありません。

2. 満期保有目的の債券(2022年9月30日)

該当事項はありません。

3. 子会社株式及び関連会社株式(2022年9月30日)

市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額

区分	中間貸借対照表 計上額（百万円）
子会社株式	9,919
関連会社株式	106

4. その他有価証券(2022年9月30日)

区分	中間貸借対照表 計上額 （百万円）	取得原価 （百万円）	差額 （百万円）
中間貸借対照表計上額が 取得原価を超えないもの			
譲渡性預金	8,000	8,000	-
小計	8,000	8,000	-
合計	8,000	8,000	-

◇デリバティブ取引関係

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 通貨関連

当中間会計期間（2022年9月30日）

区分	取引の種類	契約額等 （百万円）	契約額等の うち一年超 （百万円）	時価 （百万円）	評価損益 （百万円）
市場取引以外の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,371	-	△74	△74

◇資産除去債務関係

資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

当該資産除去債務の総額の増減（単位：百万円）

	自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
期首残高	1,123
有形固定資産の取得に伴う増加	-
時の経過による調整額	-
中間期末残高	1,123

◇収益認識に関する注記

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

区分	当中間会計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)
委託者報酬	57,740百万円
運用受託報酬	8,912百万円
成功報酬（注）	250百万円
その他営業収益	181百万円
合計	67,085百万円

（注）成功報酬は、中間損益計算書において委託者報酬または運用受託報酬に含めて表示しております。

2. 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

〔重要な会計方針〕 7. 収益及び費用の計上基準に記載のとおりであります。

3. 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

◇セグメント情報等

当中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. セグメント情報

当社は投資運用業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品・サービスごとの情報

当社の製品・サービス区分の決定方法は、中間損益計算書の営業収益の区分と同一であることから、製品・サービスごとの営業収益の記載を省略しております。

(2) 地域ごとの情報

① 売上高

本邦の外部顧客からの営業収益に区分した金額が中間損益計算書の営業収益の90%を超えるため、地域ごとの営業収益の記載を省略しております。

② 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が中間貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの営業収益のうち、中間損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、主要な顧客ごとの営業収益の記載を省略しております。

◇1株当たり情報

自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日

1株当たり純資産額 15,158円67銭

1株当たり中間純利益 3,187円11銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり中間純利益につきましては、潜在株式がないため、記載しておりません。

2. 1株当たり中間純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

中間純利益	16,415百万円
普通株主に帰属しない金額	—
普通株式に係る中間純利益	16,415百万円
期中平均株式数	5,150千株

第2【その他の関係法人の概況】

1 名称、資本金の額及び事業の内容

<更新後>

(1) 受託者

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
野村信託銀行株式会社	35,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法）に基づき信託業務を営んでいます。

* 2023年1月末現在

(2) 販売会社

(a)名称	(b)資本金の額 [*]	(c)事業の内容
株式会社ゆうちょ銀行	3,500,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。

* 2023年1月末現在

2 関係業務の概要

<更新後>

(1) 受託者

ファンドの受託会社（受託者）として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行ないます。

(2) 販売会社

ファンドの取扱販売会社として、募集の取扱いを行ない、信託契約の一部解約に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行ないます。

3 資本関係

<訂正前>

(持株比率5.0%以上を記載します。)

(1)受託者

該当事項はありません。

(2)販売会社

該当事項はありません。

<訂正後>

(2022年9月末現在の持株比率5.0%以上を記載します。)

(1)_受託者

該当事項はありません。

(2)_販売会社

該当事項はありません。

独立監査人の中間監査報告書

2023年3月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

湯 原 尚

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村世界6資産分散投信（DC）安定コースの2022年7月12日から2023年1月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村世界6資産分散投信（DC）安定コースの2023年1月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2022年7月12日から2023年1月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

2023年3月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

湯 原 尚

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村世界6資産分散投信（DC）インカムコースの2022年7月12日から2023年1月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村世界6資産分散投信（DC）インカムコースの2023年1月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2022年7月12日から2023年1月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

2023年3月10日

野村アセットマネジメント株式会社

取締役会 御 中

EY新日本有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

湯 原 尚

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている野村世界6資産分散投信（DC）成長コースの2022年7月12日から2023年1月11日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村世界6資産分散投信（DC）成長コースの2023年1月11日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（2022年7月12日から2023年1月11日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、野村アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・ 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。
監査人は、経営者に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

野村アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

2022年6月7日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 湯原 尚
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 津村 健二郎
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 水永 真太郎
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第63期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以　上

-
- (注) 1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年11月24日

野村アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中EY新日本有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 湯原 尚
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 水 永 真太郎
業務執行社員

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている野村アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第64期事業年度の中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、野村アセットマネジメント株式会社の2022年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財

務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- ・中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- ・経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。
2. XBRLデータは中間監査の対象には含まれていません。